

パレスチナ
官民連携による持続可能な観光振興
プロジェクト（フェーズ2）
詳細計画策定調査報告書

平成 26 年 1 月
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構
産業開発・公共政策部

産公
J R
14-016

パレスチナ
官民連携による持続可能な観光振興
プロジェクト（フェーズ2）
詳細計画策定調査報告書

平成 26 年 1 月
(2014 年)

独立行政法人国際協力機構
産業開発・公共政策部

序 文

パレスチナは、豊富な観光資源を有しており、近年、目覚ましい観光産業の発展を続けています。JICAは、2009年2月から2012年2月までの3年間、人類最古の都市とも言われるジェリコにおいて、「官民連携による持続可能な観光振興プロジェクト」を実施し、官民連携の観光推進母体であるジェリコ遺跡保存・観光委員会（JHTC）を立ち上げるとともに、観光資源としての文化遺産の有効活用、土産物・観光商品の開発、観光情報の発信等を支援しました。

同プロジェクトでパイロット的に実施されたジェリコの観光振興に係る活動は、ジェリコの一部の住民に裨益をもたらすことに成功したものの、今後、地域経済全般に裨益をもたらす形で活動を発展させることが期待されています。また、他の地域でもジェリコ同様の課題を抱えており、ジェリコでの経験を他の地域にも広め、パレスチナ全体で観光振興を推進していく必要があります。

こうした背景のなか、日本国政府は、パレスチナ自治政府からの要請に基づき、観光・遺跡庁を実施機関とする技術協力プロジェクト（フェーズ2）の実施を決定しました。同決定を受け、国際協力機構（JICA）は、2012年7月にプロジェクト実施前の事前の調査として、プロジェクトの背景や現状を確認するとともに、実施内容の計画策定に必要な情報・資料を収集・分析し、先方機関とプロジェクトの内容について協議し、その結果を協議議事録（M/M）にて署名することを目的とした調査団を派遣しました。

本報告書は、同調査団の調査結果を取りまとめたもので、本プロジェクトの円滑な実施に寄与するとともに、パレスチナ自治政府と日本国の友好、親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

調査団派遣にご協力頂いたパレスチナ自治政府・日本の関係各位に対し、深甚の謝意を表すとともに、今後のプロジェクトの実施にあたり、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成26年1月

独立行政法人国際協力機構

産業開発・公共政策部長 植嶋 卓巳

目 次

序 文
地 図
略語表
目 次

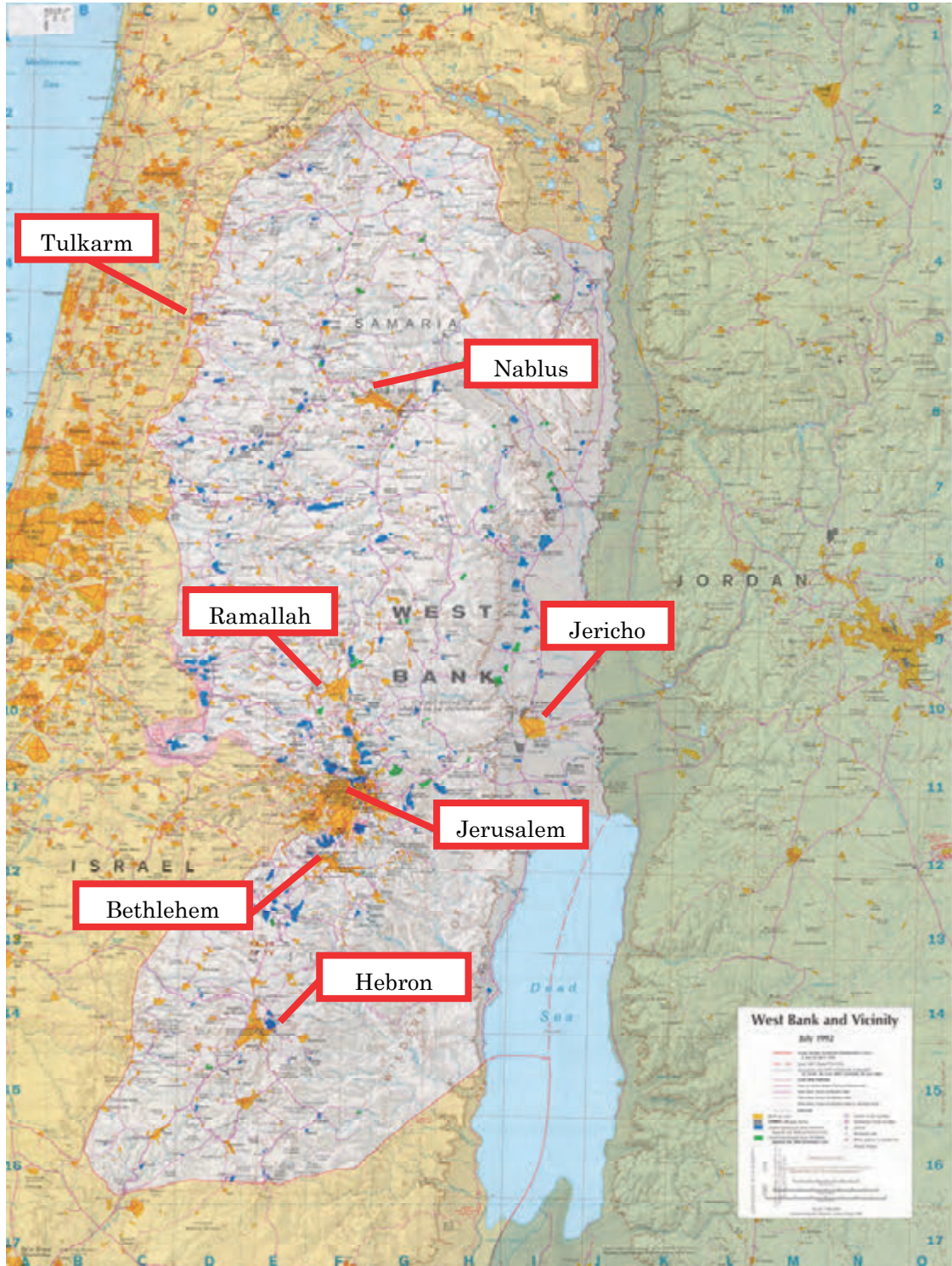
第1章 調査の概要	1
1-1 詳細計画策定調査の背景と目的	1
1-2 詳細計画策定調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
第2章 詳細計画策定調査結果	6
2-1 パレスチナ自治区全体における観光の現状	6
2-2 ジェリコ及び近隣地域の観光の概要	8
2-3 観光関連組織の実施体制	11
2-4 他ドナー、NGO等関連機関の活動	13
第3章 プロジェクトの基本計画	15
3-1 プロジェクトの実施体制	15
3-2 実施機関の概要	15
3-3 実施機関の予算	18
3-4 協力内容に関する調査結果概要（PDMの概要）	19
第4章 プロジェクトの実施妥当性	22
4-1 5項目評価	22
4-2 貧困・ジェンダー・環境等への配慮	27
4-3 過去の類似案件からの教訓の活用	28
第5章 プロジェクト実施に向けた課題と提言	29
5-1 課題	29
5-2 提言	29
第6章 総括	31
別紙1 MOTA組織図	33
別紙2 2011～2013年戦略予算	34

付属資料

1. 協議議事録 (Minutes of Meeting : M/M) 署名済み 37
2. 討議議事録 (Record of Discussion : R/D) 署名済み 61
3. 現地収集資料リスト 76

地 図

パレスチナ全土及びプロジェクト対象都市



略 語 表

略語	正式名称（英語 / 仏語）	日本語
AECID	Agencia Española de Cooperación Internacional para el Desarrollo	スペイン国際協力庁
AHA	Arab Hotel Association	アラブ・ホテル協会
ATG	Alternative Tourism Group	代替的観光グループ
ATGU	Arab Tourist Guide Union	アラブ・ツーリスト・ガイド組合
CBT	Community Based Tourism	コミュニティを基礎とした観光
C/P	Counterpart	カウンターパート
EU	European Union	ヨーロッパ連合
FIT	Free Individual Tourist	外国人個人客
HLITOA	Holy Land Incoming Tour Operators Association	聖地入場ツアー・オペレーター協会
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JHTC	Jericho Heritage and Tourism Committee	ジェリコ遺産・観光委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
LAG	Local Action Groups	現地活動グループ
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
MOTA	Ministry of Tourism and Antiquities	観光・遺跡庁
MOPAD	Ministry of Planning and Administrative Development	計画・行政開発庁
MOU	Memorandum of Understanding	覚書
NEPTO	Network of Experiential Palestinian Tourism Organization	パレスチナ体験型観光組織ネットワーク
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PSTTA	Palestinian Society of Tourist and Travel Agents	パレスチナ観光旅行協会
R/D	Record of Discussion	討議議事録
TIC	Tourist Information Center	観光情報センター
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization	国際連合教育科学文化機関
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁

WG	Working Group	ワーキンググループ
----	---------------	-----------

第1章 調査の概要

1-1 詳細計画策定調査の背景と目的

パレスチナは、ベツレヘム、ジェリコ、エルサレム等の豊富な観光資源を有しており、2000年9月に勃発した第2次インテッファダ（イスラエル国のパレスチナ軍事占領に対する民衆蜂起）以前は観光業がGDPの11%を占めていた。そのなかでもヨルダン川西岸に位置するジェリコの歴史は約1万年前にも遡り、世界最古の都市といわれている。ジェリコ市内中心部にあるテル・エス・スルタン（人類最古の古代遺跡）、北部のヒシャム宮殿や新約聖書にも記載のある西部丘陵地域の「誘惑の山」をはじめとして、ジェリコを含むヨルダン渓谷には500カ所以上の豊富な文化遺跡が存在している。

ジェリコへの観光客は1998～2000年までの間は年間約23～25万人で推移し、ホテル等のインフラ整備も進んだが、第2次インテッファダの結果、観光客は2001年には1,200人まで激減し、観光収入の減少をもたらした。しかし、治安情勢の改善が見られた2005年には10万人程度まで回復し、2010年には約100万人にまで増加しており、ジェリコにおける観光産業は、今後も農業と並ぶ重要産業であり続けることが予想される。他方、ジェリコ地域の観光振興における課題として、治安のほか、観光資源としての文化遺産の活用、土産物・観光商品の開発不足、観光情報の発信不足等が挙げられていた。

このような状況の下、JICAは、2009年2月から2012年2月までの3年間、観光・遺跡庁（Ministry of Tourism and Antiquities : MOTA）をカウンターパート（Counterpart : C/P）機関として、ジェリコ地域において官民協同による地域住民に直接裨益する持続可能な観光システムを形成することを目的に、「官民連携による持続可能な観光振興プロジェクト」（以下、フェーズ1）を実施した。フェーズ1実施の結果、官民の代表がジェリコの観光振興の方針について議論するためのプラットフォームであるジェリコ遺跡・観光委員会（Jericho Heritage Tourism Committee : JHTC）¹が形成され、JHTCによって地域住民への裨益を最優先しながら持続的な観光振興を進めるための体制が整えられた。また、コミュニティを基礎とした観光（Community Based Tourism : CBT）²をめざした活動が展開され、文化遺産の有効活用に向けたサイネージの設置、ハチミツやモザイク商品の開発支援、バザールや展示会の開催、ローカルガイドツアーや料理人に対する研修、観光情報の発信を目的とした観光情報センター（Tourist Information Center : TIC）の設置、観光地図の作成、ジェリコの歴史を紹介するための本の作成等が実施され、上記課題の解決に向け、一定の成果を達成した。

他方、フェーズ1でパイロット的に実施されたジェリコの観光振興に係る活動は、ジェリコの一部の住民に裨益をもたらすことに成功したものの、今後、地域経済全般に裨益をもたらす形で活動を発展させることが課題として残されている。具体的には、途に就いたばかりのJHTCの機能を強化しつつ、豊富な文化遺産の更なる有効活用、観光商品・サービスのより一層の充実を図り、観光客の訪問地の多様化、観光客による飲食店や商店での観光商品・サービスの購入を促進

¹ JHTCは、MOTA、ジェリコ市役所、ジェリコ県庁、教育長ジェリコ支局、青少年スポーツ庁ジェリコ支局、文化庁ジェリコ支局、アラブ・ホテル協会（Arab Hotel Association : AHA）、パレスチナ体験型観光組織ネットワーク（Network for Experiential Palestinian Tourism Organization : NEPTO）から、計8名の代表で構成される。ジェリコ市役所の Mr. Marwan Samarat を Working Group Leader として、年4回以上の開催をめざして活動を再開する予定である。

² 地域住民が主体となって観光事業を行い、地域発展をめざす観光形態を指す。

する必要がある。

他の地域、例えば、ベツレヘムにおいても、2010年には観光客が100万人を超えるなど、観光は主要産業となっているが、観光客の訪問地が生誕教会付近に集中しており、観光による便益が一部の地域にしかもたらされていない。同様に、ヘブロンやナブルスにおいても、共に旧市街や数々の史跡などの豊富な関係資源が十分に活用されておらず、ジェリコやベツレヘムと比べ、地域全体で見ても観光による便益を十分に享受できていない。

このような背景を踏まえ、パレスチナ自治政府はわが国に対し、①JHTCの機能・組織強化、②ジェリコをモデルとした観光振興システムの他地域への紹介、③観光プロモーションの強化を目的として、「官民連携による持続可能な観光振興プロジェクト(フェーズ2)」(以下、本プロジェクト)をわが国に要請した。

本詳細計画策定調査は、パレスチナ政府からの協力要請の背景、内容を確認し、本プロジェクトの事前評価を行うとともに、プロジェクトの実施内容の計画策定に必要な情報・資料を収集・分析し、先方実施機関とプロジェクトに係る討議議事録(Record of Discussion: R/D)(案)及び協議議事録(Minutes of Meeting: M/M)の協議・署名を行うことを目的として実施したものである。

1-2 詳細計画策定調査団の構成

分野	氏名	所属
団長	飯田 学	JICA 産業開発・公共政策部産業・貿易課 企画役
観光開発	高寺 奎一郎	個人
協力企画	木村 明広	JICA 産業開発・公共政策部産業・貿易課
評価分析	飯田 晴海	グローバルリンクマネジメント(株)

1-3 調査日程

本詳細計画策定調査は、2012年7月2日から21日にわたり実施した。

7月2日(月)	テルアビブ到着 調査団内打合せ
7月3日(火)	ラマッラ、ジェリコへ移動 MOTA 表敬 ジェリコ市役所表敬
7月4日(水)	TIC 運営に関する聞き取り ラマッラへ移動
7月5日(木)	MOTA との協議
7月6日(金)	聖地入場ツアー・オペレーター協会(Holy Land Incoming Tour Operators Association: HLITOA) との協議 パレスチナ観光旅行協会(Palestinian Society of Tourist and Travel Agents: PSTIA) との協議

7月7日(土)	ベツレヘム商工会議所との協議 Zakareia Wood Sevouneirs 工場見学 Beit Sahour バス会社との協議
7月8日(日)	ヘブロン市役所との協議
7月9日(月)	代替的観光グループ (Alternative Tourism Group : ATG) との協議 ジェリコ商工会議所との協議
7月10日(火)	MOTA ベツレヘムとの協議 MOTA との協議 JICA パレスチナ事務所との協議
7月11日(水)	MOTA との協議 計画・行政開発庁 (Ministry of Planning and Administrative Development : MOPAD) 表敬
7月12日(木)	ナブルス市役所との協議
7月13日(金)	調査団内打合せ M/M ドラフト作成
7月14日(土)	AHA との協議 MOTA プロモーション局との協議
7月15日(日)	JHTC との協議 ジェリコ市長表敬 MOTA 大臣表敬
7月16日(月)	M/M 協議
7月17日(火)	M/M 協議
7月18日(水)	ラップアップ協議 M/M 署名
7月19日(木)	JICA パレスチナ事務所への報告 在イスラエル日本大使館 (対パレスチナ暫定自治政府日本国政府代表事務所) への報告
7月20日(金)	テルアビブ出発
7月21日(土)	東京到着

1-4 主要面談者

(1) パレスチナ側

1) 観光・遺跡庁 (Ministry of Tourism and Antiquities : MOTA)

- ・ HE. Rula Maayah Minister
- ・ Dr. Hamadan Taha Assistant Deputy Minister
- ・ Dr. Ahmed Rjoob Director General, Site Development Department
- ・ Mr. Iyad Hamdan Head of Jericho office
- ・ Mr. Majed Ishaq Deputy Director General, Marketing Department
- ・ Mr. I. Yasen Iqteit Hebron Office

- Mr. Mahamoud Jabbarean Hebron Office
 - Mr. Nahed Abdo Nablus Office
 - Mr. Mahmoud Birawi Nablus Office
 - Mr. Ihab Haj Daoud Nablus Office
 - Ms. Nour Mohamad Staff of TIC in Jericho
- 2) 計画・行政開発庁 (Ministry of Planning and Administrative Development : MOPAD)
- Dr. Ibrahim Abdelrahim Director of Americas & Far East Countries, D.G. Aid Management & Coordination
- 3) ジェリコ市
- Mr. Hassan Saleh Hussein Mayer, Jericho Municipality
 - Mr. Marwan Samarat Public Relation Officer, Jericho Municipality
 - Ms. Nafisa Zorba Temporary Staff of TIC, Jericho Municipality
 - Mr. Kazem A. Muaket Manager of Chamber, Chamber of Commerce
- 4) ヘブロン市
- Dr. Sulaiman Jaradat Governorate of Hebron
 - Mr. Marwan Sultan Governorate of Hebron
 - Mr. Alaa Shahin Hebron Municipality
 - Mr. Hisham Idwiekat Hebron Rehabilitation Committee
 - Mr. Nader Tamimi Traditional Tourism Association
 - Mr. Bader Aldaour Altamimi Traditional Handcrafts Center
- 5) ナブルス市
- Mr. Adly R. Yaish Mayor, Nablus Municipality
 - Mr. Amal Hudhud Head of DES, Nablus Municipality
 - Ms. Rafif Malhas Director of Woman Conner, Nablus Municipality
 - Mr. Sameh Al-Assi City Engineer, Nablus Municipality
 - Mr. Firas Najjar General Manager of Travel Agency
 - Mr. Khaled Musleh Head of Public Relation Department, NCCI
 - Mr. Labeeb Zaidan Tourism Police
 - Mr. Awwad Hamelan Manager, Aslqsr Hold
 - Mr. Ayman Al-Shaka'a Director, MCRC
- 6) ベツレヘム商工会議所
- Ms. Fayrouz J. Khoury Deputy General Director

- 7) 聖地入場ツアー・オペレーター協会 (Holy Land Incoming Tour Operators Association : HLITOA)
- Mr. Sami Abu-Dayyeh President
 - Mr. Raed Khatib Executive Director
 - Mr. Rami Zeidan BOD General Secretary
 - Ms. Christina Samara Former President
 - Mr. Tony Khashram Member
- 8) パレスチナ観光旅行協会 (Palestinian Society of Tourist and Travel Agents : PSTTA)
- Mr. Rami N. Khalifa Chairman
 - Mr. Alaa Anwar Akel Member
- 9) Beit Sahour バス会社
- Dr. Khalil Rashmawi General Manager
- 10) 代替的観光グループ (Alternative Tourism Group : ATG)
- Mr. Rami Kassis Executive Director
- 11) アラブ・ホテル協会 (Arab Hotel Association : AHA)
- Mr. Raed Saadeh President
 - Mr. Raed Khatib Secretary General
- (2) 日本側
- 1) 在イスラエル日本大使館 (対パレスチナ暫定自治政府日本国政府代表事務所)
- 山本 英昭 副代表
 - 神谷 英生 二等書記官
- 2) JICA パレスチナ事務所
- 田中 泉 所長
 - 向井 直人 次長
 - 上野 恵以奈 所員

第2章 詳細計画策定調査結果

2-1 パレスチナ自治区全体における観光の概要

(1) 外国人観光客の動向

昨年（2011年）にパレスチナを訪れた外国人観光客の総数は2,280,921人を記録した（MOTA統計2011年版）。対前年比では0.7%の微減であるが、これは前2010年における大幅増（67.3%）の反動と考えられる。中東地域全体における2011年の外国人観光客到着数は、“UNWTO Advance Release January 2012”によれば5,500万人、対前年で8%の減少を記録したものと推計されている。これはアラブの春の混乱による減少と考えられる。

また、2010年における大幅増は2009年のガザ紛争による減少の反動である。

表2-1 外国人観光客到着数（パレスチナ、中東、全世界）

(人)

地域	2008年	2009年	2010年	2011年
パレスチナ	1,430,799	1,373,708	2,298,556	2,280,921
中東	55,900,000	52,700,000	60,000,000	55,000,000
全世界	920,000,000	880,000,000	940,000,000	980,000,000

出所：UNWTO Advance Release January 2012, MoTA統計2011年

パレスチナにおける2011年の外国人観光客数を、地域別にみると、ベツレヘム（1,045,382人）、ジェリコ（730,373人）、ヘブロン（111,421人）の順となっている。ただし、ラマッラ、ナブルスの数字は得られていない。

表2-2 外国人観光客数（パレスチナ内地域別）

(人)

地域	2008年	2009年	2010年	2011年
ジェリコ	546,814	487,340	773,381	730,373
ベツレヘム	844,943	699,811	1,092,570	1,045,382
ヘブロン	32,876	20,816	27,201	116,421
ナブルス	1,704	10,293	23,560	-----
ラマッラ	3,801	18,150	-----	-----
合計	1,430,799	1,373,708	2,298,556	2,280,921

出所：MoTA統計2011年

2011年の地域別の動向を外国人観光客の延宿泊数でみると、ベツレヘム（589,360泊）、ラマッラ（86,189泊）、ジェリコ（68,534泊）、ナブルス（9,250泊）、ヘブロン（2,284泊）の順である。宿泊率はベツレヘム（0.56）が高く、ジェリコ（0.09）が低く、ラマッラ、ヘブロン、ナブルス（0.2～0.35）はその中間にある。ベツレヘムでの宿泊率が高くなっているのは、エルサレムでの宿泊の補完・代替機能を果たしているためと考えられる。ラマッラ、

ヘブロン、ナブルスでの宿泊率がジェリコのそれを上回っているのはビジネス目的客が多い
ためと推測される。

表 2-3 外国人観光客の延宿泊数（パレスチナ内地域別）

(泊)

地 域	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年
ジェリコ	62,510	49,798	75,054	68,531
ベツレヘム	392,523	364,053	547,502	589,360
ヘブロン	1,564	2,505	3,825	2,284
ナブルス	8,285	5,504	8,446	9,250
ラマッラ	35,399	60,164	73,483	86,179
合計	500,511	484,332	717,117	766,423

出所：MoTA 統計 2011 年

2011 年にパレスチナを訪れた外国人観光客到着数を国籍別にみると表 2-4 のとおりである。

表 2-4 外国人観光客到着数（国籍別）

国 籍	人 数	構成比
アラブ系イスラエル人	701,152	30
ロシア	336,460	15
米国	151,645	7
イタリア	112,930	5
ポーランド	105,048	5
ドイツ	93,420	4
インド	59,923	3
スペイン	53,697	2
ナイジェリア	52,870	2
インドネシア	50,611	2
ブラジル	49,099	2
フランス	48,595	2
韓国	41,967	2
ルーマニア	40,967	2
英国	40,193	2
その他	334,714	15

出所：MoTA 統計 2011 年

アラブ系イスラエル人を除くと、10%以上のシェアを占める国はロシアだけであり、その他国籍の観光客が15%（334,714人）を占めていることは、パレスチナが、幅広い国々からの観光客を迎えているデスティネーションであることを示している。アラブ系イスラエル人はパレスチナに自由に入国できるため、週末休暇、買い物の目的での来訪が多く、安定した重要な市場である。

ロシアが上位を占めているのは、ロシア正教会のキリスト教徒による巡礼目的客、更にはイスラエルに移住したロシア人による来訪が多いものと考えられる。

(2) 国内観光客の動向

2011年における国内観光客の到着数は2,530,461人で、延宿泊数は119,791泊であった。国土面積がほぼ日本の三重県と同規模ということから、日帰り客が圧倒的に多くなっている。宿泊需要は主に週末休暇、ビジネス旅行により生まれているものと考えられる。

国内観光は、2010年以降、ジェリコを除く各地域において大幅な増加を示している。地域別ではトゥルカレム、ナブルス、ジェニンという北部地域での到着数が、ジェリコ、ラマッラ、ヘブロン、ベツレヘムという南部地域を大きく上回っている。これは北部各地域での遊園地施設等の開設が、家族旅行、学校遠足需要を吸収したものと考えられる。

2-2 ジェリコ及び近隣地域の観光の概要

(1) ジェリコにおける外国人観光客の動向

ジェリコへの外国人観光客到着数は、各年の変動はあるものの増加を続け、2011年では730,373人を記録している。対前年比では6.6%の減少であるが、これは前年における58.7%という大幅な増加の反動である。フェーズ1期間中の3年間における増加率は49.9%に達している。ちなみに2010年の大幅増は、2009年のガザ地区での紛争の影響による大幅減の反動と推測される。

同期間の外国人による宿泊延べ数をみると37.6%の増加を記録している。

地域別の国籍別観光客数は発表されていないが、フェーズ1により開設されたTICへの来訪者（2012年4月21日～7月3日）に関する情報は、表2-5のとおりである。

表2-5 TICへの観光客訪問数（国別）

順位	国籍	人数(人)	順位	国籍	人数(人)
1	米国	95	18	ロシア	4
2	ドイツ	58	19	ブルガリア	3
3	フランス	53	20	レバノン	3
4	イタリア	31	21	ベトナム	3
5	オーストラリア	25	22	ノルウェー	3
6	パレスチナ	20	23	イスラエル	2
7	スペイン	19	24	フィンランド	2
8	カナダ	16	25	日本	2

9	ポーランド	13	26	韓国	2
10	英国	9	27	デンマーク	1
11	オーストリア	9	28	コロンビア	1
12	チェコ	7	29	ニュージーランド	1
13	オランダ	7	30	中国	1
14	ブラジル	7	31	メキシコ	1
15	スイス	5	32	スウェーデン	1
16	スロバキア	4		不明	13
17	台湾	4		合計	425

出所：TIC 統計

来訪者のほとんどが、個人旅行者であり、欧米諸国からの来訪者が中心を占め、その国数は32カ国に及んでいる。

ジェリコにおける外国人観光については、滞在時間、訪問地点が限られていることから、地元コミュニティに裨益する経済社会的効果が限られていることが指摘されてきた。その改善のため、CBTによる開発システムをスタートさせることがフェーズ1の重要な目的であった。

フェーズ1終了後5カ月目において、コミュニティへの裨益という観点から、以下の改善が確認された。

1) 土産品店舗におけるジェリコ産品売り場面積の大幅な増加

テル・エス・スルタン遺跡の目の前にある大型土産品店では、従来、イスラエル製、パレスチナ他地域産品の売り場面積がほとんどを占めていたが、現在では、デザート、デザート加工食品、ハチミツ、果物などのジェリコ産品の売り場面積が大幅に増加している。また、ジェリコ産であることを前面に打ち出したセールスが行われるようになった。

2) TICの開設による外国人個人客（Free Individual Travel：FIT）市場の存在の確認

MOTA、ジェリコ市の共同運営によるTICが2012年4月より本格的にオープンした。当初、開設時の来訪者は国内観光客が中心、個人客が想定される外国人観光客の来訪は限られる、とフェーズ1の日本人専門家によって予想されていたが、オープン2カ月の来訪者をみると、そのほとんどがFITとなっている。

ジェリコの場合、観光資源が郊外に集中し、市内に観光アトラクションが乏しいため、TICを市内に開設しても来訪者が少ないことが予想されるため、TICはテル・エス・スルタン周辺に開設すべきとの議論もあった。そうしたなか、観光シーズンが終わりを迎えるこの時期に、オープン直後の2カ月で、FITを中心に400人を超える来訪者が記録されたことは、大きな成果と考えられる。フェーズ1で整備したTIC標識の効果もあったと考えられる。TICの存在が知られるにつれ、さらにTIC来訪者は増加することが予想されるが、TICの存在によりジェリコを訪れるFIT客そのものが生みだされる可能性も考えられる。つまり、「TICで必要な情報が得られる体制ができているのならジェリコに行ってみよう」というFIT需要が生まれてくる可能性である。このためには、TICが来訪者の期待に応える質の高い情報サービスを提供することが重要である。

多様な観光行動が期待できるセグメントである FIT 市場の存在は、市内での食事、買い物、買い物の促進、トレッキング等新しい観光魅力の開発、それに伴う滞在時間の延長など、地域への裨益増進のための大きな力となり得る。

3) テル・エス・スルタンとヒシャムパレスにおける情報提供体制の大幅改善

ジェリコの代表的観光資源であるテル・エス・スルタンとヒシャムパレスについては、遺跡紹介サービスの不足が指摘されていたが、フェーズ 1 及び他の JICA 事業により整備された映像施設による遺跡説明、ローカルガイドの配置、遺跡紹介パンフレットの配布が行われるようになった。本調査中にも同映像施設を利用する観光客が数名確認された。今後、来訪者の遺跡理解と満足度が向上していくことが期待されている。

4) 直接裨益型の観光インフォーマルセクターの誕生

ジェリコ郊外の C 地区にある聖ジョージ僧院とヘロデ大王冬の宮殿を結ぶワディケルト溪谷ルートは、開発が望まれるエコトレッキングルートであるが、ジェリコに向かう観光ツアーバスが既に聖ジョージ僧院を訪れ始めていることが確認された。

バスが走行できるアクセス道路が整備されていないため、観光客は駐車場から僧院までの急な山道を 1km 弱徒歩で往復しなくてはならない。このため、観光客の便宜をはかるため、地元住民がロバでの往復サービスを提供し始めている [1 回 50NIS (約 1,000 円)]。バスツアーで訪れる観光客の多くがこのロバでの往復サービスを利用している。観光が生み出す典型的な直接裨益型インフォーマルビジネスが生まれつつある。

(2) ジェリコにおける国内観光客の動向

ジェリコを訪れる国内観光客数は伸び悩んでいる。豊富なプール施設、遊園地、ケーブルカー体験、解放的な自然等の存在から、従来、家族旅行、学校遠足にとっての国内第 1 の目的地としての地位を確保してきたが、過去 2 年来、その様相が一変している。ナブルス、ジェニン、トゥルカレムという北部地区への国内観光客が急増し、ジェリコはその後塵を拝している。これはトゥルカレムなどで最新型のアトラクションを有した遊園地が続々とオープンしているためである。このため、ジェリコが劣勢を挽回するためには、ウォータースライダーや流れるプールを設置し、レストラン、スポーツ施設を備えた、より魅力的な最新のプールコンプレックスが必要であるという声も旅行業者のなかから挙がっている。

(3) 近隣地域における外国人・国内観光客の動向

1) ベツレヘム

外国人観光客到着数が 2010 年で 100 万人を超え、2011 年には 1,045,382 人を記録している。宿泊数も 2011 年で 589,360 泊に達している。このため、ホテルの新設、リノベーションが続いている。商工会議所によれば、主要ホテルの年間平均客室利用率は 70% に達しており、3 月末～5 月、9～11 月のハイシーズンは満室状態が続いている。

ベツレヘム観光の問題点としては、観光客の行動が聖誕教会に集中しており、市内での滞在時間が短いことが指摘されている。来訪外国人観光客の 2 割程度は個人客と商工会議所も推測しており、ホームステイ、特殊ツアーの手配で実績を重ねている代替的観光グループ (Alternative Tourism Group : ATG) 等との協力により、市内の小博物館、郊外の農村、ソロモンのプール、Mar Saba 僧院等の訪問サイトの多様化とそれに伴う滞在時間の延長を

図ることが期待される。

2) ヘブロン

昨年（2011）に外国人観光客到着数が4倍強も増大している。アラブ系イスラエル人による来訪が増加している可能性が高いがと推察されるものの、データは入手できていない。観光的にはアブラハムの棺を納める Al-Haram al-Ibrahimi 僧院は集客力を期待できる資源であり、その他市内、郊外に旧約聖書にまつわるサイト、遺跡が多い。またガラス製品、陶器などの観光客の関心を呼べる伝統工芸品が豊富である。

3) ナブルス

国内観光客到着数の大きさが注目される。2011年にはトゥルカレムに次いで439,571人の国内観光客を迎えている。市内中心部での観光案内所の開設など、行政サイドも観光客の受け入れに対して積極的である。重要な商業都市で、他地域からのバスの便もあり、観光警察によれば、商用のほか、会議や催し物参加目的等の来訪者も多くなっている。観光振興に向けて、旧市街の見学ルートを選定し、コース（道路・ファサードの補修・美化・清掃、花壇、夜間照明、電線・放置物・不適當な看板・雑草等の除去）、案内施設（ビジターセンター、案内標識、英語による説明ボード、ローカルガイド）、休息施設（ベンチ・東屋・テラス）、その他施設（公共トイレ、警報装置等）等の優先的な整備が必要と考えられる。

4) ラマツラ

ラマツラについては、外国人観光客、国内観光客とも順調な増加を続けている。国内観光的にはショッピング、グルメ、文化イベントなど都市観光型の観光振興、外国人観光については、ホテル、会議展示施設等の都市機能を生かした MICE 市場の開拓が望まれる。

2-3 観光関連組織の実施体制

本調査では、フェーズ2を実施する際に関係してくると想定される民間分野の事業者を訪問し、その組織や事業概要を確認した（MOTA、ジェリコ市役所及び他支援地域候補については、「第3章 プロジェクトの基本計画」の「3-2 実施機関の概要」を参照）。

(1) 聖地入場ツアー・オペレーター協会（HLITOA）

同協会は、インバウンド（外国人観光客取扱い）ランドオペレーター会社の経営者や設立者によって構成されている。そのため、インバウンド市場を念頭に置いた観光客誘致と観光インフラ整備（ホテル、公園、駐車場等）を目的として活動している。同協会によれば、会員の会社はパレスチナのみならず、イスラエルを含め、すべての地域でオペレーションが可能であり、観光ルートとしては、イスラエル、パレスチナ、ヨルダン、エジプトに広がっている。そのため、会員の支店は、空港内にも設置されている。

同協会は、従来の欧州市場のみならず、東欧や日本を含む東アジア市場、ブラジルなどの南米市場をこれからの重要市場と考えている。他の観光関連機関との関係において、行政機関の官僚主義に懸念を表明している一方、後述するアラブ・ホテル協会（AHA）とはパートナーとして覚書（Memorandum of Understanding：MOU）を締結し、業務の円滑化を図って

いる。

(2) アラブ・ホテル協会 (AHA)

パレスチナにある 70 のホテルが加盟しており、そのうち、50 のホテルが常任メンバーとなっている。そのほか、ゲストハウスなどの宿泊施設や、巡礼者向けの宗教施設がメンバーとなっている。ホテル業界のマーケティングとしては、国内旅客、巡礼者、Health Tourism といったターゲット特定型で実施している。イスラエル側同業者との競争は激しく、市民社会、CBT にも目を向け、観光と農村開発（観光客とコミュニティ）を結びつけるような取り組みも重点分野としている³。その他の観光事業者との関係として、レストラン、交通機関、土産物開発事業者とのネットワークを重視している。また、イスラエル側のツアー・オペレーターともビジネス関係をもっている。

(3) パレスチナ観光旅行協会 (PSTTA)

同協会は、パレスチナのあらゆる種類の業務（インバウンド、アウトバウンド、ドメスティック、チケット）にかかわる観光、旅行代理店 47 社が参加し、2008 年に設立された。HLITOA と違い、国内の旅行者も扱っている。業務としては、3 カ月ごとに、観光客、観光事業者向けに雑誌（英語版のみ）を発行している。本プロジェクトへのかかわり方として、1 日用のプログラムや学童向けの旅行のセットアップ、そのためのワークショップの開催などが提案された。

(4) 代替的観光グループ (ATG)

1995 年に設立され、事業を開始した。現在、史跡訪問、ハイキング、ホームステイ（ベツレヘム、ヘブロン、ナブルスで実施）、オリーブ実の収穫、植樹などを含んだ観光プログラムを提供している。基本的な 3 種類のツアープログラムを用意しているが、顧客からのリクエストによるオーダーメイドで、観光プログラムを形成する。同社のプログラムには、年間 2,500 ～ 3,000 人の利用実績あり、そのほとんどは、グループ客である。

ホームステイ・プログラムは、地域住民の観光分野への巻き込みを目的として、1998 年に開始された。同プログラムによって、一般家庭が、観光から直接的に収入を得ることができる。ベツレヘムでは、事業資金は、UNDP の日本基金を活用し、30 戸からスタートしたが、現在は 100 戸まで増加している⁴。

観光プログラム以外の業務として、観光事業者と観光客に対する活動の指針・規範として、2008 年に“Code of conduct in Palestine”を、他の観光事業者、MOTA との協力で作成した。また、現在、2 種類の調査、すなわち、①観光分野における独占状況と②観光関連法規の現状に関する調査を行っており、成果品は、本プロジェクトと共有する旨、説明があった。

³ 同協会の会長は、JHTC のメンバーである NEPTO の代表も務めている。

⁴ ホームステイ・プログラムの予約は、130 のグループからなる、ATG のネットワークを通じて行われる。これらのグループは、NGO やツアーリーダー等である。予約客は、主にロコミを通じて、当該プログラムに申し込んでいる。利用客のほとんどは、外国人である。

(5) Beit Sahour バス会社

同社は、ベツレヘムを本拠に、観光バス、公共バスの運行を行っている。ベツレヘムからジェリコへのルートは、同社が、金曜日を除き、1日1往復の便を運行している〔片道 16 NIS、約 320 円〕。また、現在、ベツレヘムとエルサレムを直通するバスルートは無い(1987年までは、1日14往復のバスがあった)。インティファダ以降、イスラエルがバス事業者のライセンスを制限しており、パレスチナナンバーや、同 ID 保持者は、エルサレムに入れなくなった。バスの乗客がチェックポイントを通過する場合、いったん、バスを降車し、徒歩でチェックポイント通過後、タクシーなどに乗り換えて目的地へ向かう状況となっている。

ベツレヘムとジェリコ間のバスルートに関して、これまで一般客が対象で、特に観光客向けに情報を告知してこなかった。ただし、十分な数の乗客があれば、別に上記ルートを走らせることも可能(大型バスは 25 人以上、ミニバスは 10～15 人程度)であり、貸切りバスの運行も可能である。ジェリコの TIC に、バスルートや時刻などの情報を提示することは可能である旨、説明があった。

(6) ジェリコ商工会議所

ジェリコ商工会議所には、現在 50 の観光関連事業者が加盟している。観光関連業者としては、レストラン 20 店舗、土産物 14 店舗、レンタカー 3 店舗、ホテル 2 つが含まれる。

ベツレヘムのような研修施設はないが、加盟事業者対象の外国語研修等を行っている。フェーズ 1 で育成した 8 名のローカルガイドについて、商工会議所からコンタクトを図ったことはあるが、これまで彼らと連携した活動は実現していない。

2-4 他ドナー、NGO 等関連機関の活動

パレスチナの観光分野における他ドナー等の支援事業は、国際連合教育科学文化機関 (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization : UNESCO) など、主に遺跡の修復、保存を対象に実施されている。そのため、観光振興そのものに特化したドナーは特にないことから、本プロジェクトと実施上の重複はない。各ドナーの事業について、実施中のものを表 2-6 に、完了したものを表 2-7 に示す。

表 2-6 他ドナーの支援事業 (実施中)

実施機関	事業
UNESCO	テル・バラータ文化人類公園 (科学研究、保存、サイト管理)
	ベツレヘム平和センターの地下博物館 (フェーズ 4) (延期中)
スペイン国際協力庁 (Agencia Española de Cooperación Internacional para el Desarrollo : AECID)	MDG 文化開発プログラム
	観光セクター強化によるジェニン/ギルボアの協力促進
	国際観光フェア FITUR 2011 におけるパレスチナ観光セクターの促進

出所 : Data Collection Survey on Assistance Approach in Palestine (Final Report)

表 2-7 他ドナーの支援事業（完了）

実施機関	事業
UNESCO	地下博物館
	定期文化プログラム資金 35/C5
	世界遺産
ヨーロッパ連合 (European Union : EU)	建築遺産の保護機関強化
AECID	パレスチナの国際観光フェア FITUR 2008 への参加
	パレスチナの国際観光フェア FITUR 2009 への参加
チェコ (Czech Development Agency : CzDA)	カスルヒシャム文化人類公園のモザイク保護（第 1 フェーズ）
オランダ (Netherlands Development Cooperation : NDC)	RAM Riwaq Hajjah PRCS センター
	バラータのプロポーザル作成
ノルウェー代表部	地下博物館

出所 : Data Collection Survey on Assistance Approach in Palestine (Final Report)

表 2-6、2-7 のほか、現在、米国国際開発庁 (USAID) が、観光と遺跡修復事業を計画 (コンセプト段階) しているとの情報が得られている。

第3章 プロジェクトの基本計画

3-1 プロジェクトの実施体制

本プロジェクトの実施体制は、中央レベルにおけるプロジェクト全体の管理に関する活動と、成果2～5の各成果に設置されたワーキンググループ（Working Group：WG）での活動に大別される。

(1) 中央レベルにおけるプロジェクト全体の管理に関する活動

合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）を上位組織として、プロジェクト全般の監督と進捗確認を行う。具体的には年次計画の承認、進捗状況のレビュー、プロジェクトのモニタリングや評価の実施、プロジェクト実施中に生じた主要議題に係る意見交換を行うための委員会である。パレスチナ側関係者としてMOTA、MOPAD、ジェリコ市役所が、日本側関係者として専門家、JICAパレスチナ事務所が同委員会のメンバー（在イスラエル日本大使館（対パレスチナ暫定自治政府日本国政府代表事務所）はオブザーバー）であり、年2回開催予定である。

(2) 成果2～5の各成果に設置されたWGでの活動

WGは、成果2～成果5の各成果に設けられ、活動の承認、進捗状況のレビュー、各成果のモニタリングや評価の実施、プロジェクト実施中に生じた主要議題に係る意見交換を行うためのグループである。各成果につき官民双方からWGリーダーが選出されることになっている。R/Dでの確認事項は表3-1のとおり。

表3-1 R/Dでの確認事項

成果	官側	民側	開催回数（最低）
成果2	Marketing Dep., MOTA	AHA	4回/年
成果3	ジェリコ市役所 MOTA ジェリコ支局	未定	4回/年
成果4	Sites Deve. Dep., MOTA	未定	2回/年
成果5	Investment Dep., MOTA	未定	2回/年

出所：著者

表3-1の開催回数とは、公式なWGの開催回数であり、定期的に関係者が集まって協議する場は必要に応じて設けられる予定である。

なお、成果2のWGについては、JHTCがその任を担うこととなる。

3-2 実施機関の概要

(1) 観光・遺跡庁（MOTA）

本プロジェクトの実施機関であるMOTAに関して、本調査では2009年6月に作成された同省の組織図を入手した（別紙1「MOTA組織図」を参照）。

MOTA は、大きく分けて、以下の表 3-2 のとおり、大臣、副大臣以下、8 局（各地域事務所含む）によって構成されている。これらの局は、副大臣以下、観光担当次官補、遺跡・文化史跡担当次官補によって統括される。

表 3-2 MOTA の主要部局

局	部 課
観光担当次官補統括	
事務・財務局	財務課*、事務課*、コンピュータ課*、人材開発課
観光履歴ライセンス局	監査課（南部、北部）、ライセンス課*
マーケティング・観光情報局	観光啓発課*、情報資材課、プロモーション課、国内観光課*、観光案内所課
観光サービス局	観光クラフト課、活動課、人材資源課*、投資プロジェクト課
遺跡・文化遺産担当次官補統括	
国家登録・更新局	登録課、目録課*、貯蓄課、出版・公表課
敷地管理・修復局	維持・修繕課*、遺跡管理課、遺跡開発課、設計課
博物館・保全技術・発掘局	試掘・調査課*、博物館管理課、博物館業務開発課、無機材料課*、有機材料課、保存・手当課
保全局（地域事務所）	ラマツラ・ジェリコ事務所、カルケリア・トゥルカム・サルフィート事務所、ナブルス事務所、ジェニン・トゥバス事務所、カーンユニス・ラッファ事務所、ガザ・デールアルバラール事務所、ヘブロン・ドーラ事務所、ベツレヘム・エルサレム事務所

* ガザ地区にも部局（課）を設置。

出典：MOTA（2009 年 6 月作成）

(2) ジェリコ

ジェリコ市役所は、農業開発と観光振興を重点分野としている。フェーズ 1 において、ジェリコ市の中心地に TIC が設置された。同 TIC は、2012 年 4 月下旬に正式に業務を開始しており、本調査実施時点で、33 カ国から計 425 名の来訪者があり、来訪者には、地図の提供、遺跡の紹介、訪問先の方向案内、宿泊施設の紹介、銀行 ATM や為替の案内、レンタカー紹介、ツアーガイドへのコンタクトなどを行っている。民間事業者からは、ホテルなどの料金提示などの情報提供が行われている。

ジェリコ市役所は、組織改編を実施し、観光担当部門を設置する意向である。現在、地方自治省に認可を申請しており、TIC の管理運営は同部門が行う予定である。今般、同市役所の組織図、予算計画については、入手ができなかった。

(3) 支援候補の他地域

ジェリコ以外に、ヘブロン、ベツレヘム、ラマツラ・アルビーレ、ナブルス、トゥルカレムを支援対象地域とすることを、MOTA は強く希望している。これら 5 地域は、パレスチナ内の主要な観光資源を有する地域であるとともに、以下に示すとおり、各地域固有の特徴を有しており、モデルとして選定することが適切と考えられる。

ただし、ジェリコについてはプロジェクトで中心的に支援を行い、ジェリコ以外の他地域については、主にパレスチナ側の強いイニシアティブ（本邦専門家による部分的な活動支援）によって活動を推進することを MOTA 側と確認した。

1) ヘブロン

アブラハムモスクなどを有し、巡礼のデスティネーションとなるほか、ハンディクラフトが盛んであり、商業観光の目的地として高いポテンシャルを有している。

2) ベツレヘム

世界遺産であるイエス・キリストの生誕教会を中心に、各国から観光客が集まるパレスチナで最も発展した観光都市である。

3) ラマッラ・アルビーレ

主要な官公庁が集まっており、現代文化の中心地である。市内にはホテル・レストランやカフェ・ショップも多い。ラマッラは、パレスチナの中心部に位置し、各都市へのワンデートリップが可能な位置にある。

4) ナブルス

テルバラター、ヤコブの井戸、旧市街、ハمام（ターキシュバス）などの観光資源を有し、巡礼のデスティネーションとなるほか、800年の歴史をもつオリーブソープ工場など、産業観光遺産としても注目できる。

5) トゥルカレム

年間30万人の入場者を誇る遊園地「メガランド」があり、国内旅行者のデスティネーションとして栄えている。

上記5都市のうち、本調査において市役所を訪問、聞き取り調査を行ったヘブロン及びナブルスの関連情報は以下のとおり。

① ヘブロン

フェーズ1実施時に、ジェリコのJHTCに触発されて、2010年にHebron Heritage Tourism Committee (HHTC)が設立された。HHTCは、初年度は2週間ごとに会合を開催していたが、2年目以降は活動自体が停滞している。他方、ヘブロン県庁では、昨年(2011)、23ある県庁傘下のコミッティの1つとして、観光コミッティを設立した。現在、コミッティの活動計画の策定、観光ニーズの把握、史跡の改修や修繕⁵、すべての観光にかかわる課題を扱うことを目的として、月1回以上の会合を開催している。

観光地図は、ヘブロン市役所が作成しており、また、市内の観光サインボードの設置も進められている。今後の観光振興のあり方として、観光案内所の設置、サインボードの設置、土産物を製造する事業者向けの研修、ワークショップ、バザールの開催などを検討している。また、旧市街の修復は、ヘブロン史跡修繕コミッティ(Hebron Rehabilitation Committee)⁶が、長年、取り組んできている。

⁵ ヘブロンには、495カ所の史跡が存在しているが、イスラエルの分断策によって、旧市街が分割され商店の多く(500店舗)が閉店、イスラエルからのパッケージツアーの対象からも外れている。

⁶ 同コミッティは、1996年に設立され、破壊された旧市街や史跡の修繕、住民への社会福祉の提供などの活動を、多くのドナーの支援で行っている。

② ナブルス

ナブルス市役所では、すべての行政分野において、コミッティを設置している。観光、同市の優先分野であり、戦略計画を策定している。2012年上半期の同市への訪問者数は、222,000人（うち、国内観光客15,000人程度）で、会議や催し物などのビジネス目的による来訪が主となっている。

同市中心部に、観光TICを設置し、2カ月前に業務を開始したが、現地観光ガイドは、1名のみとなっている。同市内では、5～10の観光事業者が営業を行っている。同市役所では、女性グループによる観光商品となるハンドクラフトの製造販売を支援しており、市役所に隣接する商業ビル内に、店舗を用意して展示販売を行っている。また、UNESCOの協力を得て、2008年より市内の史跡の修繕に力を入れている。

3-3 実施機関の予算

MOTAの「観光開発戦略2011～2013」では、戦略目標として、「高品質な観光商品の創出」、「独立した独自の観光目的地としてのパレスチナのマーケティング」、「効果的な史跡・文化遺産の保存」の3つの戦略目標が掲げられている。その概要及び予算額は、表3-3のとおり（詳細は、別紙2の「2011～2013年戦略予算」参照）。

表3-3 2011～2013年戦略予算

戦略目標及び主要政策	予算額（割合）
1. 高品質な観光商品の創出 (1) 観光客受入れ可能な観光施設の開発 (2) 観光分野の関連法令、規則の再検討 (3) 観光パッケージの創造と開発	\$59,122 (26%)
2. 独立した独自の観光目的地としてのパレスチナのマーケティング (1) 独立した観光目的地としての国際観光地図へのパレスチナの挿入 (2) 観光分野の制度の効率と効果の改善 (3) 投資環境の創出と観光とサービスへの投資促進	\$86,210 (39%)
3. 効果的な史跡・文化遺産の保存 (1) 効果的な文化史跡の保存方法の創出 (2) 文化史跡サイトの効果的な修復と管理 (3) 文化史跡分野の開発と活性化	\$78,000 (35%)
合計	\$221,060 (100%)

出所：MOTA 2011～2013年戦略予算

上述した3つの戦略目標のうち、本プロジェクトと主に関連があるのは、1. 「高品質な観光商品の創出」と2. 「独立した独自の観光目的地としてのパレスチナのマーケティング」であり、予算額においては、それぞれ全体の26%と39%を占めている。これらの合計は65%となり、MOTAの戦略計画において、重要な位置を占めているといえる。

3-4 協力内容に関する調査結果概要 (PDM の概要)

(1) 上位目標及びプロジェクト目標

プロジェクトの上位目標及びプロジェクト目標とそれぞれの達成時の指標は、表3-4のとおりである。

表3-4 上位目標及びプロジェクト目標とその指標

プロジェクト要約		指 標
上位目標	プロジェクトで確立された観光振興の手法がパレスチナにおいて活発に実施され、それらの地域で開発された各観光スポットへの訪問者が増加し、地元コミュニティに裨益がもたらされる。	<p>指標1：プロジェクトで確立された観光振興の手法に基づき、XX地域において同手法を踏まえた観光戦略、アクション・プランが策定または改訂され、活動が開始または前のアクション・プランから継続して実施される。</p> <p>指標2：開発された各観光スポットを訪問する観光客数がXX%増加する。</p> <p>指標3：観光客が滞在期間中に訪問するパレスチナの観光スポット数がXX%増加する。</p> <p>指標4：上記アクション・プランの活動に参画している人のうち、XX%が同活動から便益を感じている。</p>
プロジェクト目標	パレスチナにおいてCBTに留意した観光振興の手法が確立される。	<p>指標1：MOTAにおいて、プロジェクトによって確立されたCBTに留意した観光振興の活動及び普及方法が観光戦略・アクション・プランにおいて明文化される。</p> <p>指標2：ジェリコにおいて、アクション・プランに記載されているXX項目のCBT活動が継続される。</p> <p>指標3：パレスチナにおいて、アクション・プランに記載されているXX項目のプロモーション活動が継続される。</p>

出所：著者

(2) 成果

本プロジェクトでは、5つの成果を設定している。その成果とそれぞれの達成時の指標は、以下の表3-5のとおりである。

表3-5 各成果とその指標

プロジェクト要約		指 標
成果1	パレスチナのコミュニティに広く裨益するための観光振興の課題が明らかにされる。	1. 観光開発の課題が、活動1.3のワークショップ実施や協議を通じて、参加者間で共有される。
成果2	パレスチナ全体に関する観光プロモーションが実施される。	<p>2-1. 観光プロモーションに関するアクション・プランが改訂される。</p> <p>2-2. プロモーション活動がXX項目実施される。</p>
成果3	ジェリコにおいて、官民連携による持続的なCBT活動が実施される。	<p>3-1. CBTに留意した観光戦略、アクション・プラン見直しのためのJHTC会合が、四半期に一度、開催される。</p> <p>3-2. アクション・プランに記載されているCBT活動がXX項目開始される。</p>

成果 4	ジェリコの CBT による観光開発の経験が、他地域において活用される。	4-1. 他地域において、CBT に留意した観光振興を実施するための観光戦略やアクション・プランが明文化される。 4-2. 他地域において、同アクション・プランに基づいた活動の一部がパイロット的に開始される。
成果 5	近隣諸国（ヨルダン国、イスラエル国、エジプト国等）との間で、観光開発における連携協力が促進される。	5. 近隣諸国との、今後の連携のあり方、方向性に関する提言を含んだ報告書が MOTA により策定される。

出所：著者

(3) プロジェクト協力期間

本プロジェクトの協力期間は、3 カ年の予定である。

(4) 裨益者

本プロジェクトの直接的な裨益者は、C/P 機関である MOTA 職員や、ジェリコ及び他地域で活動に参加する行政職員や観光部の民間事業者である。また、間接受益者は、ジェリコ及び他地域の住民となる。

(5) 日本側投入

日本側の投入は、以下のとおり、専門家の派遣、ローカルコンサルタントの雇用、機材供与、本邦及び第三国研修、現地業務費負担等である。

1) 専門家派遣（想定分野）

- ・ 総括 / 観光マーケティング
- ・ 観光プロモーション
- ・ CBT
- ・ 業務調整 / CBT 補助
- ・ 短期専門家：必要に応じて

2) ローカルコンサルタント雇用（必要に応じて）

3) 機材供与（車両）、事務用機器等、その他必要に応じて）

4) 本邦及び第三国研修（エジプト、ヨルダン等）

5) 現地業務費負担（基礎調査及び訪問客調査、ワークショップ、現地研修、プロモーション等の活動にかかる経費）

(6) パレスチナ側投入

パレスチナ側の投入は、MOTA における C/P の配置、プロジェクト事務所となる執務スペースの提供、ローカルコストの負担等である。

1) カウンターパートの配置（MOTA 職員）

2) プロジェクト事務所の提供（MOTA 内及び関連施設への日本人専門家の活動に必要な執務スペース及び設備の提供）

3) ローカルコスト負担（スタッフの給与/日当、燃料、交通費、光熱費などプロジェクト活動に必要な経常経費）

(7) 外部条件

本プロジェクトの各過程における、前提条件、外部条件は以下の表 3-6 のとおりである。

表 3-6 外部条件（前提条件含む）

各過程	外部条件等
前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・パレスチナの治安状況が悪化しない。 ・パレスチナ自治区への観光客の立入りが制限されない（イスラエル政府の占領政策）。 ・プロジェクトの人員(C/P 及び WG メンバー) 及び予算が適切に配置される。
成果達成のための外部条件	<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野の民間事業者が、プロジェクトに対する関心を維持する。 ・ジェリコの地域住民がプロジェクトに対する関心を維持する。 ・MOTA の CBT 導入に係る政策・方針が変わらない。
プロジェクト目標のための外部条件	<ul style="list-style-type: none"> ・国際及び国内の観光市場が現状より悪化しない。 ・パレスチナの治安状況が悪化しない。
上位目標のための外部条件	<ul style="list-style-type: none"> ・パレスチナ政府の観光政策が変化しない。

出所：著者

第4章 プロジェクトの実施妥当性

4-1 5項目評価

(1) 妥当性

本プロジェクトの妥当性について、当該国政府の政策や対象地域におけるニーズとの一致、日本側の援助政策及び JICA 技術協力支援における位置づけに対し、その上位目標及びプロジェクト目標やプロジェクト・アプローチとしての妥当性等の観点から以下のとおり検証を行った。

その結果、本プロジェクト実施の妥当性は高い。

1) パレスチナ自治政府政策

パレスチナ自治政府の「国家開発計画 2011～2013」において、観光は経済セクター戦略のなかに位置づけられており、観光情報センターの設立、遺跡の保存・修復、国内外の市場をターゲットとした商品やサービスの競争力強化、豊富な遺跡資源のプロモーション活動に係る重要性が謳われている。また、MOTA の「観光開発戦略 2011～2013」においては、既述のとおり、戦略目標として、1) 高品質な観光商品、2) 独立した独自の観光目的地としてのパレスチナのマーケティング、3) 効果的な史跡・文化遺産の保存が掲げられている。同戦略目標はそれぞれ、3つの政策によって支えられており、合計 29 の事業が実施されている。

本プロジェクトは、パレスチナにおける観光振興の課題を明らかにし、観光プロモーションの強化、近隣諸国との連携を行うとともに、ジェリコ及び周辺地域において、CBT に留意した観光開発を実施し、パレスチナにおける観光振興手法の確立を図り、同手法がパレスチナの各地域で活発に実施されることを通じて、パレスチナへの観光客の増加に寄与することを目的としている。その内容は、上述の MOTA の戦略目標の 1) 及び 2) と合致している。

2) 対象地域におけるニーズ

パレスチナは、ベツレヘム、ジェリコ、エルサレム等の豊富な観光資源を有しており、2000年9月に勃発した第2次インティファダ（イスラエル国のパレスチナ軍事占領に対する民衆蜂起）以前は観光業が GDP の 11% を占めていた。ジェリコは、世界最古の都市遺跡を有し、かつ、500カ所以上の豊富な文化遺跡が存在している。同市への観光客は、第2次インティファダ以降は減少したものの、2005年には10万人程度、2010年には100万人に増加した。

同市役所は、農業開発とともに観光振興を重視しているが、その課題として、従来から、観光資源としての文化遺産の活用、土産物・観光商品の開発不足、観光情報の発信不足が挙げられている。同市では、フェーズ1において、サイネージの設置、ハチミツやモザイク商品の開発支援、バザールや展示会の開催、ローカルガイドツアーや料理人に対する研修、観光情報の発信を目的とした TIC の設置、観光地図の作成、ジェリコの歴史を紹介するための本の作成など、観光客の受入れ態勢の整備を図ってきた。しかし、観光客の受入れ状況の多様化や、地域住民全体の啓発を含んだ CBT の本格的な実践を行うには、更なる技術協力が必要とされている。

また、ジェリコ以外で、CBTの導入対象として検討されているヘブロン、ベツレヘム、ナブロス等の地域では、歴史的な文化遺産や旧市街を抱え、伝統的な工芸品が豊富であるなど観光目的地とし、実績をもつとともに、かつ、その潜在力は高い。しかしながら、ジェリコ同様に、観光客の特定目的地への集中、短い滞在時間など、ジェリコ同様の問題を抱えている。本調査において、これらの地域でも観光振興を重視しており、「CBT導入による課題解決に向けた要望が強い」ということが確認された。

3) 日本側の援助政策及びJICA技術協力支援

日本政府は、2010年の日本・パレスチナ・ハイレベル協議において、中小企業・輸出促進、農業、観光、地方行政、財政、上下水道、保健の7分野を今後3年間の重点分野とすることを合意した。また、その際には、日本が2006年に策定した、日本、イスラエル、パレスチナ及びヨルダンの4カ国の域内協力を通じて、ヨルダン渓谷の経済開発を進める「平和と繁栄の回廊」構想を推進することも確認された。

本プロジェクトは、フェーズ1と同様、JICAの対パレスチナの援助重点分野の1つである「経済成長促進」の「経済開発」の「観光開発プログラム」の一事業として、位置づけられている。観光開発プログラムでは、世界最古の都市とされるジェリコをモデル地域とし、観光街づくりを推進する体制及び一部インフラの整備をめざすこととしている。観光分野は、農業とともに、ヨルダン渓谷において高い開発潜在性をもち、歴史的な遺産の有効活用と観光客の誘致が期待されている。本プロジェクトは、日本政府の重点分野に一致するとともに、中長期的な取り組みである「平和と繁栄の回廊」の具体化にも貢献することとなる。

4) 対象地選定の妥当性

今回、プロジェクト対象地として、ジェリコ以外に、ヘブロン、ベツレヘム、ラマツラ・アルビーレ、ナブルス、トゥルカレムを検討している。既述のとおり、主要な観光地であるとともに、各地域に固有の特徴（ヘブロン：宗教遺産、商業観光、ベツレヘム：世界遺産、ラマツラ・アルビーレ：現代文化、ナブルス：歴史遺産、産業観光遺産、トゥルカレム：国内観光客向け）があり、モデル地域として選定する意義がある。

(2) 有効性

観光は、パレスチナ経済と社会において、大きな役割を果たしている。他方、観光振興のあり方として、現状では、マスツーリズムによる一部の観光目的地への観光客の集中や、その短い滞在日数、観光地側の情報発信不足など、さまざまな課題がある。フェーズ1において、ジェリコで導入された官民連携のCBTは、観光目的地の分散、観光事業への参入者の増加、多様な観光サービスの提供、観光客受入れに係る住民の意識向上など、上述の課題を解決し、新たな観光振興の手法を提供するものにとらえられている。

本プロジェクトでは、CBTに留意した観光振興が、将来的にMOTAを通じて、パレスチナの多くの地域で展開されることを念頭に、成果を構成している。プロジェクト目標の達成は、C/P機関であるMOTAや他の関係者が、パレスチナにおけるCBTの導入と実践の経験を蓄積するとともに、国内外へのプロモーションや、近隣諸国との課題解決のための関係性の向上など、パレスチナの観光分野の課題に対処するものとなっている。このような観点から、本プロジェクトは、パレスチナの観光振興を進めるうえでの課題解決の有効性は高いと

いえる。

1) 本プロジェクトのアプローチ

MOTA では、ジェリコにおいて導入された、CBT に留意した観光振興を「ナショナル観光モデル」として発展させたいと考えており、最終的に、パレスチナ全土での導入を念頭においている。本プロジェクトの目標は、パレスチナにおいて CBT に留意した観光振興の手法が確立されることであり、対象地であるジェリコ及び他地域でのパイロット活動は、本プロジェクトの対象地も含むパレスチナ全域において CBT に留意した観光振興を展開するための一里塚と位置づけられる。

本プロジェクトの上位目標は、CBT の各地域での導入によって、「プロジェクトで確立された観光振興の手法がパレスチナにおいて活発に実施され、それらの地域で開発された各観光スポットへの訪問者が増加し、地元コミュニティに裨益がもたらされる」こととしている。上位目標を達成するために必要なプロセスとして、ジェリコでの CBT に留意した観光振興の十分な実践及び他都市における同手法の導入を掲げている。

このような方向性から、5つの成果は、将来的に、パレスチナ全土に CBT に留意した観光振興手法を導入、展開していくために、広域にわたる観光分野の課題に、1つひとつ対処していく内容となっている。

成果1：パレスチナにおいて、コミュニティに広く裨益するための観光振興の課題を明らかにする。

成果2：ジェリコ、他地域を含め、パレスチナ全体の観光情報を発信するためのプロモーション活動を国内外で展開し、観光需要を喚起する。

成果3：ジェリコを対象に、フェーズ1で形成された CBT の基礎を引継ぎ、地域住民や民間分野の参画を得て、CBT の充実した展開を図る。

成果4：ジェリコのみならず、他地域が、CBT の導入、展開するための支援を行う。

成果5：ヨルダン、イスラエル、エジプトなどの近隣諸国における観光振興への取組みについて、課題を共有し、その解決策を検討するなど、相互の連携やネットワーク形成を図る。

本プロジェクトでは、MOTA による、CBT に留意した観光振興の将来的な広域展開を念頭に、プロジェクトを通じて、必要な実践を行い、総合的な MOTA の能力開発を行うようなアプローチといえる。

2) 本プロジェクトの有効性に係る留意点

本プロジェクト活動及びその成果は、パレスチナの国内外での観光プロモーションから、CBT 活動のジェリコでの実践と他の地域での導入、そして、近隣諸国との関係性強化と、さまざまな方向性をもっている。また、各活動には、MOTA のみならず、ジェリコ市などの自治体や、観光分野の民間事業者や協会などの団体、NGO、地域住民など、多くの関係者が参加する。

本プロジェクトは、このような多様で多彩な活動とその結果を、CBT に留意した観光振興手法の確立のために集約し、MOTA の内部で経験値としていかに蓄積していくかを、十分に留意することが、重要である。

(3) 効率性

本プロジェクトの実施体制は、既述のとおり、中央レベルにおけるプロジェクト全体の管理に関する活動と、成果2～5の各成果に設置されたWGでの活動に大別される。また、各成果につき官民双方からWGリーダーが選出されることとなっている。

成果ごとに、活動内容やその参加者、関係者は大きく異なっていることから、それぞれの適切な管理運営が必要であり、かつ、中央レベルからのバックアップが、プロジェクト全体の効率的な実施にかかわってくるといえる。各成果の達成における留意事項は、以下のとおりである。

成果1：パレスチナの観光セクターの現状と訪問客のニーズを、ベースライン調査や訪問客調査によって、正確に把握する。成果2～4に係る活動実施において、同調査がベースとなること、幅広く情報を収集し、適切に分析することが重要となる。

成果2：国内外へのパレスチナの観光プロモーション活動をロードショーや、展示などを通じて行う。多角的に展開される活動において、如何に国内外の観光需要を喚起できるかが重要となる。

成果3：ジェリコにおいて、フェーズ1で形成されたJHTCを中心に活動が実施される。CBTの実践において、住民への啓発活動、新たな民間分野の機関や事業者の参加など、多様な関係者がかかわることから、JHTCによる活動の進捗管理とともに、関係者間の円滑な協調と協力を維持することが必要となる。

成果4：ヘブロン、ナブルス等の支援対象都市では、既に活動の受け皿となる県や市傘下の観光コミッティが組織されている。また、観光案内所や地図等の観光配布資料なども同様に整備されているケースが多い。本プロジェクトでは、これらの他地域への支援においては、ジェリコと同様の内容ではなく、日本人専門家とMOTAスタッフが、各地域既存のリソースを活用しつつ、CBTを導入していくことを側面的に支援する。そのため、対象地で必要と思われる技術支援を、的確に実施して行くことが求められている。

成果5：ヨルダン国、イスラエル国、エジプト国などの近隣諸国と、ワークショップや、関係者間の協議を通じて、観光振興への取り組みに係る課題の共有、解決策を検討するが、その目的を明確したうえで実施することが、成果を達成するうえで重要となる。

(4) インパクト

本プロジェクトの実施によるインパクトとしては、以下にあるとおり、上位目標の達成とその他のインパクトが掲げられる。

上位目標は、CBTの各地域での導入によって、「プロジェクトで確立された観光振興の手法がパレスチナにおいて活発に実施され、それらの地域で開発された各観光スポットへの訪問者が増加し、地元コミュニティに裨益がもたらされる」ことである。そのためには、ジェリコ及び支援対象他地域で、CBTの実施体制をしっかりと築くことや、支援対象他地域で更に活動を活発化させるとともに、その他の地域にCBTを導入するに当たっては、MOTAの強いオーナーシップが必要となる。

一方、その他のインパクトとして、プロジェクト対象地域外において、他の観光地・地域で、同様な取り組みが行われることが、ポジティブなインパクトとして、期待される。

1) 上位目標の達成予測

本プロジェクトの上位目標は CBT の各地域での導入によって、「プロジェクトで確立された観光振興の手法がパレスチナにおいて活発に実施され、それらの地域で開発された各観光スポットへの訪問者が増加し、地元コミュニティに裨益がもたらされる」ことである。以下の表 4-1 のとおり、4 つの指標を定めている。

表 4-1 上位目標の各指標

番号	指 標
1	プロジェクトで確立された観光振興の手法に基づき、XX 地域において同手法を踏まえた観光戦略、アクション・プランが策定または改訂され、活動が開始または前のアクション・プランから継続して実施される。
2	開発された各観光スポットを訪問する観光客数が XX% 増加する。
3	観光客が滞在期間中に訪問するパレスチナの観光スポット数が XX% 増加する。
4	上記アクション・プランの活動に参加している人のうち、XX% が同活動から便益を感じている。

出所：著者

指標 1 について、第一に、本プロジェクト対象地域外において、MOTA 主導によって CBT に留意した観光振興手法を導入していくことが想定されている。本プロジェクトの経験を通じて、MOTA が能力開発を行うとともに、MOTA が強いオーナーシップを発揮することが必要である。第二に、ジェリコ以外の支援対象地域において、同手法をより発展的に実施していくことが想定されている。本プロジェクト実施期間中に CBT 導入に係る支援までは行われるが、その本格的な実践と展開は、各地域に委ねられている。各地域が、本プロジェクト実施時と同様に、CBT の実践において主体性を保つとともに、MOTA による側面的な支援が不可欠といえる。

指標 2 及び指標 3 について、フェーズ 1 及び本プロジェクトを通じて CBT の導入・実施を包括的に支援した結果が、開発された各観光スポットへの観光客の増加、観光客が滞在期間中に訪問するパレスチナの観光スポット数の増加という形で開花することが想定されている。パレスチナの治安状況にも左右されるが、観光客は年々増加傾向にあり、本プロジェクト実施の結果、新たな需要の獲得とそれに対応する多様な観光サービスの提供が可能になることで、目的地の多様化、滞在時間の増加など、さまざまな相乗効果を生むことが期待される。

指標 4 について、CBT 活動に参加している人が、実際の便益を実感できることが想定されている。外資主導の観光開発ではなく、CBT に留意した観光振興を実施することで、地元住民が、経済的便益に加え、地元の歴史・文化への誇り、コミュニティの結束などにポジティブな効果を実感できることが期待される。

2) その他のインパクト

主にポジティブな面から、以下のようなインパクトが想定される。

① 国家建設を支える観光収入の増加

恒常的な財政不足の状態にあるパレスチナ自治政府にとって、国家建設を支えるた

めの収入増加が期待される。

② 観光市場拡大による雇用機会創出、収入向上

観光市場が拡大することで、観光関連事業における就職機会が増加するとともに、同産業従事者の収入増加が期待される。

③ 近隣諸国との連携強化（情報共有、共同ツアーの開発等）

近隣諸国との情報共有が進み、特に民間事業者同士の協調が進めば、共同ツアーの開発も期待される。

④ 観光資源整備を通じた住民による歴史・文化の共有

観光資源整備を通じて、地元住民が地元の歴史や文化の価値を再認識することが期待される。

⑤ 住民の啓発活動による史跡や文化遺産の保護促進

フェーズ1に、ジェリコ近辺に設置された70カ所の観光標識は、住民による毀損が1カ所もなく、住民の遺跡に対する意識向上が示唆された。このように、住民を巻き込んだCBTの実施によって、ジェリコ以外の他地域でも住民意識の向上が期待できる。

⑥ TICのマーケティング機能強化

ジェリコTICにおいて、既述のとおりFIT市場の存在が確認できた。

こうした統計データを活用することで、マーケティング戦略を検討することも可能となる。TICには、情報提供のみならず、こうしたマーケティング機能も期待できる。

(5) 持続性

プロジェクトの効果が持続的に発展していくためには、パレスチナの観光振興の中核となるMOTAのオーナーシップを維持するとともに、観光事業の主役を担う民間事業者の持続的な参画が不可欠である。そのため、両者の良好な関係性の維持も重要な要素となるといえる。

1) MOTAのオーナーシップ

ジェリコ及び支援対象他地域の活動経験とその結果を踏まえて本プロジェクトで確立する、CBTに留意した観光振興の手法を、他地域へ展開していく際には、MOTAのオーナーシップが非常に重要な要素となる。MOTAのイニシアティブのもとに、同手法の展開に必要とされる人事を含む組織的措置、予算的措置も、適宜実施されることが求められる。

2) ジェリコ、支援対象他地域

ジェリコや支援対象他地域が、本プロジェクト終了後も、CBT活動やプロモーション活動を滞りなく行い、かつ、拡大していくためには、本プロジェクトの活動を通じて構築される観光振興に向けた連携を維持することが必要である。そのためには、自治体などの行政機関のみならず、商工会議所や旅行会社などの観光にかかわる民間事業者が、その有用性を理解し、相互協力を継続していくことが必要となる。

4-2 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

本プロジェクトの実施にあたって、貧困・ジェンダー・環境等への配慮について特記すべき事

項は特にない。

4-3 過去の類似案件からの教訓の活用

フェーズ1において、2011年12月に実施された終了時評価では、以下の4つの教訓が掲げられた。

- 1) 多様な組織を構成員とした組織を設立することの困難さ。このような組織を構築するにあたっては、多大な労力がかかることを踏まえる必要がある。
- 2) 「組織の設立」と「当該組織による活動」は、段階的に実施されるのではなく、同時進行で実施されるべきである。
- 3) 「住民参加」の前段階としての地元住民への啓発活動の重要性。
- 4) 市民社会（NGO等）による参画の重要性。

1)と2)は、ジェリコのJHTCの組織化についての教訓である。本プロジェクトのジェリコ以外の支援対象地域においては、改めて組織の立ち上げをめざすのではなく、官民の関係者が集う会議の場を活用することで、官民連携に必要な機能を担保しつつ、観光戦略やアクション・プランを策定し、同アクション・プランに基づく実際の活動を支援していくことが期待される。

3)は、地元住民の協力をより効果的に得るために、まずは地域の歴史・文化に関する啓発活動を行うことが効果的であるという教訓である。同教訓を生かすために、アクション・プラン策定時に、住民への啓発活動を重視するよう促していく必要がある。

4)は、パレスチナにおいて、地域の観光資源を生かして幅広い活動を展開しているNGO等、市民社会の参画促進に関する教訓である。フェーズ1では、市民社会の十分な参画が得られておらず、アイデアが実際のアクションに結びつくまでに、さまざまな困難があった。同教訓を踏まえ、成果2のWGの民側リーダーとしてNGOを迎えることになっている。ワークショップやアクション・プランで取り決められる各活動においては、同NGOに加え、更に幅広い市民社会の参画を呼び掛けていく必要がある。

第5章 プロジェクト実施に向けた課題と提言

本章では、パレスチナにおける観光開発に関する課題を整理し、提言を述べる。

5-1 課題

(1) 観光を振興する仕組み・組織体制について

JHTC の活動は、フェーズ1 終了後、活発化していない。主たる理由は、リード役である MOTA 次官補の人事異動であった。JHTC は、意思決定機関ではなく、観光振興活動に係る意見交換の場であり、話合われた内容については、各関係機関が持帰り、その一部が MOTA 主導で実施されていたところ、MOTA 次官補の人事異動に伴い、活動が停止することとなった。また、JHTC の活動が MOTA 次官補に依存することとなったのは、同人物の人柄・能力によるところも大きい。JHTC 設立がフェーズ1 終了直前となってしまう、プロジェクト期間中に十分な枠組みが定まらなかったことも一因である。

他地域の詳細な情報については、今後更なる調査が必要となるが、パレスチナでは一般論として、ドナー側による活動の計画・準備・実施の請負を C/P 側が期待する（ドナーにリード役を期待する）傾向が強いと言われており、結果として、C/P の人材育成や経験ノウハウの蓄積が進まないことがある。

(2) 仕組み作りの困難さ

JHTC 設立がフェーズ1 終了の直前となってしまったのは、別々の組織の構成員が集まり、1 つの組織を作ることが困難であったためである。活動当初から、官民の関係者が集まって意見交換する場は形成されていたが、具体的な活動が起こるまでには時間がかかった。

(3) 地元住民の所得向上につながらない観光振興

ジェリコ訪問客がお金を落とす場所は、外資系ホテル、テル・エス・スルタンのショッピングコンプレックスやケーブルカーなど、特定の場所に限定されている。それゆえ、ジェリコ観光は、地元住民の所得向上にはあまりつながっていない現状がある。こうした状況は他地域でも問題視されている。

(4) 訪問客に対するニーズ調査の不足

新規で商品やサービスを開発する際には、訪問客（需要側）のニーズを正確に把握して実施する必要がある。他方、パレスチナにおいては、こうした調査は十分に実施されてこなかった。フェーズ1 のジェリコにおける活動も、CBT の導入体制整備に注力したため、事前に十分なマーケット調査が行われたわけではなく、パイロット的に実施された各活動は、関係者（供給側）の問題意識に基づいて展開されてきた。

5-2 提言

(1) リード役に依存しない仕組み作り

JHTC においては、各関係機関の責任範囲が明確になるような仕組み作りが求められる。すなわち、単なる意見交換の場に終始するのではなく、「誰が、いつまでに、何をするのか」

という段取りを関係者間で合意のうえ、各自が与えられた役割を果たすことである。そのような仕組み作りについては、本プロジェクト開始当初から意識して取り組む必要がある。

また、多くの民間事業者をメンバー企業として抱える、民間組織による積極的な参画を促すことも重要である。経済活動の主体は民間事業者であり、本プロジェクトのアクション・プラン実施が彼らの便益につながれば、リード役に依存しない持続的な活動の実施が期待できる。

(2) 仕組み作りとパイロット事業のバランスのよい実施

新しい仕組みを作るには時間がかかるため、プロジェクトの初期段階で仕組み作りに時間をかけすぎるとはならず、仮の仕組みでパイロット事業を実施し、目に見える成果を積み重ねながら、同活動を持続的に実施していくための仕組み作りを検討し、時間をかけて定着させていくことが必要である。

(3) 地元住民の所得向上につながるアクション・プランの策定

CBT が、より効果的に地元住民の所得向上に貢献するために、同活動の内容を、工夫する必要がある。例えば、既述の FIT 市場をターゲットとした活動は、FIT がツアー客に比べてより長期間にわたって滞在する傾向があるだけに、地元住民の所得向上に大きく貢献する可能性を秘めている。アクション・プランを策定する際には、活動の成果が地元住民の所得向上に効果的につながるか否か、といった観点から検討することが必要である。

(4) 訪問客のニーズを踏まえたアクション・プランの実施

訪問客調査では、訪問客の国籍、性別、職業、団体/個人の別、期間、目的、動機、嗜好、訪問回数、目的地、活動内容、予算、満足度、問題など、訪問客の特性を知るうえで必要となるデータを幅広く調査・分析する必要がある。同調査を踏まえ、訪問客のニーズを正確に把握したうえで、プロモーション活動や CBT 活動のアクション・プランを検討・実施していく必要がある。

第6章 総括

パレスチナは独立した国家ではなく、イスラエル国内の自治区である。例えば政府の税収をとっても他国とは大きく異なり、観光ビザ発行などで観光客からの直接的な税収を期待することができない。出入国管理もパレスチナが独自に行ってはならず、国家としてのイスラエルが実施している。また、セキュリティ管理についても、パレスチナ自治区の多くを占めるC地区では民政、治安をイスラエル政府が担当しており、観光振興に関して施設・設備の建設を含む多くの活動が制限を受けている。許可のないパレスチナ人自治区居住者はイスラエル国側へは入ることができず、ガイドの行動範囲も限定されてしまっている。こうした他国と大いに異なる特殊事情を十分踏まえ、当地で観光分野のみならず支援を実施する際には、適切な内容や方法を検討することが必然である。

わが国は「平和と繁栄の回廊」構想の元、さまざまな支援を実施しているが、観光振興も柱の重点7分野の1つとして位置づけている。また、イスラエル経済からパレスチナ経済が自立化することを目標に、経済自立化支援を援助重点分野に指定している。この分野において、観光開発・都市計画改善の協力プログラムを設定しており、パレスチナにおいて本観光振興プロジェクトはこの枠組みのなかに位置づけられ、実施されるものである。

パレスチナには宗教的な観光地が多数存在し、ベツレヘムが2012年にUNESCOの世界文化遺産に指定されたように、観光地としての魅力は少なくなく、多くの外国人観光客が訪れている。しかしながら、観光客が消費するお金はイスラエル企業に落ちており、パレスチナ経済への貢献が少ないという課題を抱えている。このため、パレスチナの観光振興が真にパレスチナ経済及びパレスチナの住民に裨益することを目的に、本プロジェクトの設計について、官民を通じて多くの関係者と協議を行った。

本プロジェクトに先立って実施されたフェーズ1において、ジェリコ地域において官民共同による地域住民に直接裨益する持続可能な観光システムの構築をめざした。この結果、ジェリコの観光振興を担うJHTCが設立され、ジェリコの観光振興を官民で連携する仕組みが形成された。フェーズ1の終了時評価時において、これらの成果が確認されるとともに、CBTの活動を実施に移すためのメカニズムの強化、現地活動グループ(Local Action Group : LAG)支援能力の強化、住民の参加を一層促すための啓発活動の継続、及び継続的なプロジェクト結果の発展・他地域への展開が提言されている。

こうした背景をもとに本プロジェクトでは、パレスチナにおける観光開発課題を明確化するとともに、官民連携によるCBT活動をジェリコ及びジェリコ以外の他地域で実践していく。さらに、パレスチナへの観光客誘致を推進するためのプロモーション活動を行うとともに、ヨルダン、イスラエル、及びエジプトといった近隣国家との連携を図ることで、多様な観光客を呼び込み、パレスチナのステークホルダーに直接的に裨益する観光振興の実現を願っている。

本プロジェクトを実施するにあたりいくつかの留意点を挙げておきたい。

(1) 持続発展性の確保

本プロジェクトは、フェーズ2として実施されるプロジェクトである。つまりフェーズ1では目標どおり仕組み作りはできたものの、官民を含めて彼らの手だけで観光振興が十分に行える状況にはいまだ到達していない。パレスチナにおいてジェリコは小規模な街であり、

そもそも実施体制は強いとはいえない。JHTC を設立した理由の 1 つはこれにあるが、今後、JHTC を中心とした官民のプレイヤーが自立できる状況にしていくことは最低限実施しないといけない。

また、他地域においては、本プロジェクトの実施主体は各地域の官民のプレイヤーとなるので、ジェリコの経験やノウハウを彼らに効率的に伝え、プロジェクト終了後にも活動が継続できるよう、持続発展性の確保には十分な検討を行っていくことが求められる。

(2) キーパーソンの活用

上記のとおりフェーズ 1 によって JHTC が設立された意義は大きいものの、プロジェクト終了後の活動はいったんストップしていた。このため、JICA のプロジェクトに賛同し実際の活動を行ってくれる人材や組織は不十分だという認識をもって現地調査に赴いた。しかしながら意に反して、C/P 機関である MOTA やジェリコ市役所の JICA 支援に対する期待は非常に高くフェーズ 2 への積極的な参加の姿勢がうかがえた。また、訪問したヘブロン、ナブルス等では、官民ともに既に多くの観光振興活動を自ら行っており、それを更に促進するために JICA の支援を強く要請されるなど、実施体制と意欲については問題がない。

今から新規に活動を行う体制を整備する（この場合、なかなか活動が進まないといった問題が少なからず発生する）のではなく、こういったやる気のあるキーパーソンを活用し彼らが実施している活動の質を向上するために、ジェリコの経験を伝えていくことが、他の都市における活動を一層促進することが可能である。

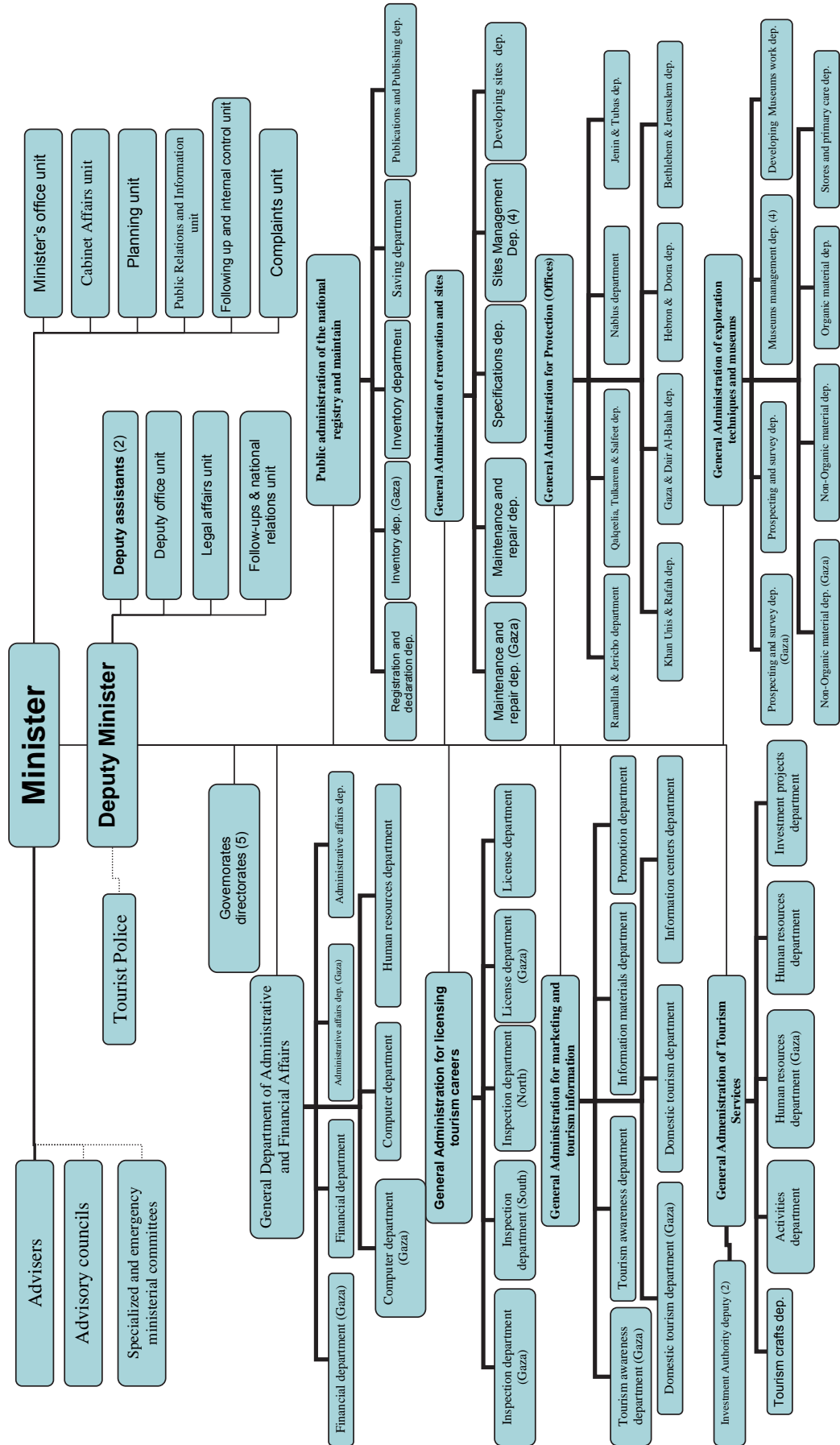
(3) 既存の調査の最大活用

パレスチナの観光の現状や課題をまずは官民のステークホルダーが確認したうえで、さまざまな活動を検討することが必要である。しかしながら、既に多くの調査がパレスチナでは行われており、これらと重複した大規模な調査を行うことを目的としない。既に実施された調査結果をよく参照し、新規の訪問客へのニーズ調査の結果と併わせて、官民のステークホルダーに分かりやすい形で情報を提供することが必要である。

(4) パレスチナ経済への裨益

繰り返しになるが、イスラエル経済のみならずいかにパレスチナ経済に裨益し、パレスチナ住民の生活向上に貢献していくかのポイントを外してはいけない。CBT 活動のアクション・プラン検討、観光商品の開発を行う際、パレスチナのプロモーションを行う際に、常にこれを念頭に活動の取捨選択を行っていくことが必要である。

MoTA組織図



別紙2 2011～2013年戦略予算

The estimated cost of the strategy for the strategy for the years 2011-2013

						(US\$)	
Policy		Interventions	2,011	2,012	2,013	Total	
Strategic objective: a product of high quality tourist							
1. Development of tourist facilities to be able to receive tourists	1	The provision of amenities and entertainment for tourist	2,500	2,000	2,000	6,500	
	2	Development facilities, tourist sites	2,000	1,500	1,500	5,000	
	3	Infrastructure development sites and attractions	3,250	4,000	4,000	11,250	
	4	Growth and development of natural resources and cultural tourist attraction sites	5,000	5,000	5,000	15,000	
	5	Planning and programming of the tourism activities	400	400	600	1,400	
	6	Encourage investment in tourism secto	200	200	300	700	
		Total	13,350	13,100	13,400	39,850	
2. Reload this legislation, rules and regulations governing the work of the	1	Reload Tourism Law and regulations related to it	700	860	12	1,572	
	2	The formation of advisory boards of the relationship	200	200	300	700	
		Total	900	1,060	312	2,272	
The creation of new tourism packages and the development of tourism packages in the first place	1	Study of target markets	600	1,000	1,000	2,600	
	2	Study of the sources of attraction potential	1,000	300	100	1,400	
	3	The development of attractions and tracks associated with them	5,000	5,000	3,000	13,000	
		Total	6,600	6,300	4,100	17,000	
Strategic objective: Palestine has put out and marketed as a tourist destination and secure independent and distinct							
1. Install the existence of Palestine on the international tourist map as a tourist destination independently	1	Creating mechanisms for effective marketing	13,000	15,000	10,000	38,000	
	2	Participation in international tourism exhibition	500	600	900	2,000	
	3	Rehabilitation of archaeological sites to be opened for the visit	15,000	15,000	1,000	31,000	
	4	Establishment of information centers	1,200	1,200	1,200	3,600	
		Total	29,700	31,800	13,100	74,600	
2. Improve the efficiency and effectiveness of institutions working in the tourism sector.	1	Sectoral strategies under preparation	1,000	1,000	1,000	3,000	
	2	Redefining the roles and restructuring of institutions	600	600	600	1,800	
	3	Update and consolidate the legal framework	700	700	300	1,700	
	4	Training and qualification of manpower	450	450	450	1,350	
		Total	2,750	2,750	2,350	7,850	
3. Create an investment environment and stimulate investment in tourism and services	1	Preparation of feasibility studies for investment in tourism	1,400	1,000	1,000	3,400	
	2	The provision of investment incentives	100	100	100	300	
	3	Activation of lending activities and funding for tourism projects	20	20	20	60	
		Total	1,520	1,120	1,120	3,760	
Strategic objective: cultural heritage sites are protected and maintained to effectively							
1. 1. Create a system of effective protection of cultural heritage sites	1	Develop a database of cultural heritage sites and periodically updated	400	400	600	1,400	
	2	Prevent the illicit transfer of cultural heritage materials	200	200	300	700	
	3	Activate the emergency protection programs for cultural heritage sites	1,400	1,700	2,400	5,500	
	4	Supervision of schemes to maintain	400	400	600	1,400	
	5	Supervise the work of survey and exploration rescuer	400	400	600	1,400	
2. Restoration and management of cultural heritage sites effectively	1	Restoration of cultural heritage sites in the villages and cities	11,000	13,000	18,000	42,000	
	2	Continue in the work of rehabilitation of museums	700	800	1,200	2,700	
		Total	14,500	16,900	23,700	55,100	
Development and activation of the cultural heritage sector	1	Establishment and rehabilitation of archaeological finds stores	5,000	6,000	900	11,900	
	2	Processing needed by the laboratory technical sector	2,000	2,000	600	4,600	
	3	Provision of supplies needed by the sector	500	600	900	2,000	
	4	Create a cadre of trained and effective	400	400	600	1,400	
	5	Develop the work of publishing and versions	1,000	1,000	1,000	3,000	
		Total	8,900	10,000	4,000	22,900	
Grand Total			78,220	83,030	62,082	223,332	

付 属 資 料

1. 協議議事録 (Minutes of Meeting : M/M) 署名済み
2. 討議議事録 (Record of Discussion : R/D) 署名済み
3. 現地収集資料リスト

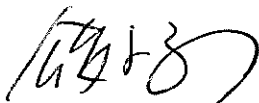
**MINUTES OF MEETING BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE MINISTRY OF TOURISM AND ANTIQUITIES
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
SUSTAINABLE TOURISM DEVELOPMENT IN JERICHO
THROUGH PUBLIC-PRIVATE PARTNERSHIP (Phase 2)**

The Detailed Planning Survey Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Manabu IIDA, visited Palestine from July 2nd to July 18th, 2012. The purposes of the visit were clarifying the concept and scope of the project proposal made by the authorities concerned of the Palestinian Authority (hereinafter referred to as “the PA”) and studying the feasibility of the Japanese Technical Cooperation Project for sustainable tourism development in Jericho through public-private partnership (Phase 2) (hereinafter referred to as “the Project”).

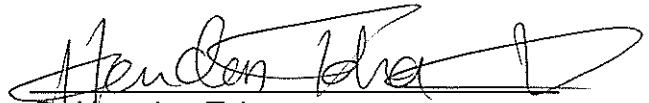
During its stay in Palestine, the Team carried out field surveys and held a series of discussions with relevant organizations of the PA. As a result of the surveys and discussions, the Team and the PA side agreed the matters referred to in the document attached hereto.

This Minutes of Meeting (hereinafter referred to as “M/M”) is an official document, which records the matters that both sides have agreed upon as of completing the Detailed Planning Survey. The agreed matters shall be finally confirmed by the signing of Record of Discussion (hereinafter referred to as “R/D”). The Japanese side presented the Draft of R/D as shown in ANNEX 6.

Ramalla, Palestine July 18th, 2012



Mr. Manabu IIDA
Team Leader
Detailed Planning Survey Team
Japan International Cooperation
Agency



Dr. Hamdan Taha
Assistant Deputy Minister
Department of Antiquities and
Cultural Heritage
Ministry of Tourism and Antiquities

ATTACHED DOCUMENT

1. Name of the Project

Both sides agreed that the project name is amended to be “Project for Sustainable tourism development in Jericho and its neighborhood through public-private partnership.”

2. Counterpart agency of the Project

Ministry of Tourism and Antiquities (hereinafter referred to as “MOTA”)

3. Implementing agency of the Project

The Municipalities of Jericho and other target cities

4. Duration of the Project

Three (3) years

5. Target area of the Project

Jericho and other target cities.

PA side requested to select the target cities such as Hebron, Bethlehem, Nablus, Tulkarem and Al-bireh.

6. Targeted beneficiaries of the Project

The municipalities, chamber of commerce, tourism service providers and local communities in Jericho and other target cities

7. Provisional framework of the Project

(1) Overall Goal:

Tourism Development is enhanced in Palestine.

(2) Project Purpose

A national tourism model of Community Based Tourism (CBT) is enhanced in Jericho and applied in other target cities to develop tourism sector.

(3) Outputs

1) Tourism promotion which benefits the community of Palestine is



enhanced.

- 2) Sustainable CBT activities are carried out in Jericho through Public-Private Partnerships.
- 3) Tourism development based on lessons learned from Jericho is utilized in other target cities.
- 4) Mutual cooperation with neighboring countries like Jordan, Israel and Egypt to develop tourism is promoted.


(4) Activities

1) For Output 1

- 1.1 Conduct a baseline survey and research on the tourism sector in the main Palestinian tourist sites.
- 1.2 Clarify the issues to be tackled by implementing fact-finding surveys for visitors (including a needs survey) in the main Palestinian tourist sites.
- 1.3 Identify the issues to be tackled about tourism development in Palestine thorough analysis, discussion and workshops with private sector (tourist agencies, tour operators, bus companies, and others).
- 1.4 Review existing strategies and action plans to promote the diversification of tourism in Palestine based on the results of workshop discussions.
- 1.5 Implement activities for national tourism promotion (promotion activities, strategies for location, and others) to diversify the type of tourists and increase number of tourists in Palestine.
- 1.6 Verify further promotion activities for sustainable tourism through a review of the results of the current project.
- 1.7 Summarize recommendations for sustainable tourism development from the results of the verification.

2) For Output 2

- 2.1 Reconfirm concepts and components of CBT (signage, tour guides, Tourist Information Center (TIC), Local Action Group (LAG), printed materials, and awareness of local residents) among relevant parties in Jericho.
- 2.2 Clarify the issues to be tackled by reference of 1.1 and 1.2.
- 2.3 Compile a strategy and action plan (including an annual action plan) to improve the issues and implementation of CBT with Jericho Heritage Tourism Committee (JHTC) playing a central role.



- 2.4 Organize workshops to enhance the participation of local residents, and the private sector in Jericho for CBT activities.
- 2.5 Implement activities to embody CBT which include marketing and development of tourism products in Jericho.
- 2.6 Monitor activities mentioned in 2.5 in Jericho by JHTC.
- 2.7 Revise the annual action plan based on activity conditions.
- 2.8 Evaluate the results of CBT activities in Jericho as a whole by JHTC at the end of the implementation of the action plan.
- 2.9 Compile Jericho's tourism vision, strategy, action plan, and framework formulation for sustainable CBT activities through targeted interventions designed to address issues identified through a review of 2.8.

3) For Output 3

- 3.1 Verify the condition of the tourism sector in other target cities by reference of the results of 1.1 and 1.2.
- 3.2 Share the concept and components of CBT and the implementation methodology among Jericho and other target cities.
- 3.3 Identify the issues to be tackled for the implementation of CBT and marketing activities based on CBT.
- 3.4 Support compiling of a tourism strategy and action plans.
- 3.5 Support compiling of marketing strategies and action plans based on CBT.
- 3.6 Support implementation of CBT activities including marketing.
- 3.7 Define a national tourism model of CBT by reviewing the results of activities, standardizing the CBT concept, identification of components and implementation methodology, and verification of marketing activities based on CBT.
- 3.8 Compile recommendations and a guideline in a report to apply the national tourism model of CBT for entire Palestine.

4) For Output 4

- 4.1 Conduct a study to analyze the conditions of the regional tourism industry among neighboring countries to clarify methods of linking the tourism sector with the identified issues to be tackled.
- 4.2 Set a venue for dialogue and share experiences among stakeholders for tourism development among neighboring countries



4.3 Compile a joint proposal in a report about the future direction of linkages with among neighboring countries.

8. Measures to be taken by the Japanese side

(1) Japanese experts

- 1) Chief Advisor
- 2) Tourism Promotion
- 3) CBT Coordinator
- 4) Other short-term experts

PA side requested Japanese experts to stay in Palestine.

(2) Training of personnel in Japan and/or a third country

- 1) Trainers' training for CBT in Japan
- 2) Tourism Promotion training in Japan
- 3) Study Tour for exhibition to Arab countries (e.g. Jordan) and/or Asian countries

(3) Equipment

JICA will provide equipment if deemed necessary for the Project activities upon mutual agreement.

9. Measures to be taken by the PA side

(1) Facilities for the Project

- 1) Offices in Jericho and Bethlehem / Ramallah
- 2) Equipment in the Office like table, chairs, telephone, fax, copy machine, air conditioner, and others

Those mentioned above will be prepared before the commencement of the Project.

(2) Assignment of Counterpart Personnel

1) Project Director

Assistant Deputy Minister, Department of Antiquities and Cultural Heritage, MOTA

2) Project Manager

Director, MOTA Jericho Office

3) Working Group Leaders

(a) Output 1

a) Public; Deputy Director General, Marketing Department, MOTA



- b) Private; President, Arab Hotels Association
- (b) Output 2
 - a) Public;
 - Public Relation Officer, Jericho Municipality &
 - Staff of MOTA Jericho Office
 - b) Private; to be decided
- (c) Output 3
 - a) Public; Director, Sites Development Department, MOTA
 - b) Private; to be decided
- (d) Output 4
 - a) Public; Director, Investment Department, MOTA
 - b) Private; to be decided

(3) Sustainability of the Project

The PA side will take necessary measures to ensure that the outcomes of technical transfer will be sustained during and after the period of the Project.

10. The Tentative Project Design Matrix (PDM) and the Tentative Plan of Operation (PO)

Both sides agreed upon Tentative Project Design Matrix (PDM) and the tentative Plan of Operation (PO) as attached in Annex 1 and 2. Further update can be made, if necessary, by JICA and MOTA. The updated version of the PDM and PO will be attached to R/D to be utilized as a management tool of the Project.

END

List of ANNEXES

- ANNEX 1: Tentative Project Design Matrix (PDM)
- ANNEX 2: Tentative Plan of Operation
- ANNEX3: Structure of Implementation for the Project (Tentative)
- ANNEX4: Concept of the Project (Tentative)
- ANNEX5: List of Interviewees
- ANNEX6: (Draft) Record of Discussion



Tentative Project Design Matrix (PDM) :

Name of the Project: Sustainable Tourism: Development in Jericho through Public-Private Partnership (Phase 2)

Duration : Three years

Date: July 18, 2012

Target Area: Jericho and other target cities

Target Group : MOTA and Stakeholders of Tourism Development in Jericho and other target cities

PDM Ver.0

OVERALL GOAL	NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATIONS	IMPORTANT ASSUMPTIONS
Tourism Development is enhanced in Palestine.		<ol style="list-style-type: none"> 1 A national tourism model is applied in other areas in Palestine. 2 A national tourism model is carried out in other target cities. 3 The number of tourists to Jericho increases XX% based on 2011 until 2020. 	<p>Document of MOTA</p> <p>Document of MOTA</p> <p>Document and statistics of Jericho Municipality, and document of MOTA</p>	<p>PA community widely accept and participate in CBT.</p>
PROJECT PURPOSE		<ol style="list-style-type: none"> 1 The guideline to implement a national tourism model is compiled by MOTA. 2 Preparatory measures are put in place to implement a national tourism model in other target cities. 	<p>Document of MOTA, Guideline for national tourism model of CBT</p> <p>Document of MOTA, Interview to MOTA</p>	<p>Tourism Policy of the PA is not changed</p>
OUTPUTS		<ol style="list-style-type: none"> 1 The number of tourists is increased and the targeted type of tourist categories is diversified. 2-1 The number of visitors to tourist facilities is increased in Jericho (target increase of XX%). 2-2 The duration of visitors stay is increased in Jericho (target increase of XX%). 2-3 Sales of souvenirs and other tourism related products are increased in Jericho (target increase of XX%). 2-4 Implementation system of CBT is prepared for involved parties (e.g. Jericho municipality, tour guides, local residents, and other relevant institutions). 3 A strategy as well as an action plan based on national tourism model of CBT are compiled in other target cities. 4 A proposal for mutual cooperation with neighboring countries to tackle issues of tourism development is drafted and submitted to MOTA. 	<p>Document and statistics of MOTA</p> <p>Document and statistics of Jericho Municipality, and Project document</p> <p>Document and statistics of Jericho Municipality, and Project document</p> <p>Document and statistics of Jericho Municipality, and Project document</p> <p>Document of Jericho Municipality and Project document, Interview to Jericho Municipality</p> <p>Document of MOTA, Project Document, Interview to other target cities</p> <p>Project Document, A proposal for mutual cooperation</p>	<p>Intention to introduce CBT will not change in MOTA.</p> <p>International and domestic market of tourism have been kept in good condition.</p> <p>Security condition is not worsen around of Palestine.</p> <p>Jericho and other target cities keep to accept CBT.</p>

ACTIVITIES	INPUTS
1.1 Conduct a baseline survey and research on the tourism sector*1 in the main Palestinian tourist sites.	Private sector in tourism keep their interest in CBT.
1.2 Clarify the issues to be tackled by implementing fact-finding surveys for visitors (including a needs survey)*2 in the main Palestinian tourist sites.	Local community in Jericho keep their interest in CBT.
1.3 Identify the issues to be tackled about tourism development in Palestine through analysis, discussion and workshops with private sector (tourist agencies, tour operators, bus companies, and others).	
1.4 Review existing strategies and action plans to promote the diversification of tourism in Palestine based on the results of workshop discussions.	<p>the PA side:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Allocation of counterpart personnel • Office space and facilities for the Project • Local cost for counterpart
1.5 Implement activities for national tourism promotion (promotion activities, strategies for location, and others)*3 to diversify the type of tourists and increase number of tourists in Palestine.	<p>Japanese side:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dispatch of experts such as Chief Advisor, Tourism Promotion, CBT Coordinator and other short-term experts • Training of personnel in Japan and for a third country • Equipment necessary for project activities
1.6 Verify further promotion activities for sustainable tourism through a review of the results of the current project.	
1.7 Summarize recommendations for sustainable tourism development from the results of the verification.	
2.1 Reconfirm concepts and components of CBT (signage, tour guides, tourist information Center (TIC), Local Action Group (LAG), printed materials, and Awareness of local residents) among relevant parties in Jericho	
2.2 Clarify the issues to be tackled by reference of 1.1 and 1.2.	
2.3 Compile a strategy and action plan (including an annual action plan) to improve the issues and implementation of CBT with Jericho Heritage and Tourism Committee (JHTC) playing a central role.	
2.4 Organize workshops to enhance the participation of local residents, and the private sector in Jericho for CBT activities.	
2.5 Implement activities to embody CBT which include marketing and development of tourism products in Jericho*4.	
2.6 Monitor activities mentioned in 2.5 in Jericho by JHTC.	
2.7 Revise the annual action plan based on activity conditions.	
2.8 Evaluate the results of CBT activities in Jericho as a whole by JHTC at the end of the implementation of the action plan.	

<p>2.9 Compile Jericho's tourism vision, strategy, action plan, and framework formulation for sustainable CBT activities through targeted interventions designed to address issues identified through a review of 2.8.</p> <p>3.1 Verify the condition of the tourism sector in other target cities by reference of the results of 1.1 and 1.2.</p> <p>3.2 Share the concept and components of CBT and the implementation methodology among Jericho and other target cities.</p> <p>3.3 Identify the issues to be tackled for the implementation of CBT and marketing activities based on CBT.</p> <p>3.4 Support compiling of a tourism strategy and action plans.</p> <p>3.5 Support compiling of marketing strategies and action plans based on CBT.</p> <p>3.6 Support implementation of CBT activities including marketing.</p> <p>3.7 Define a national tourism model of CBT by reviewing the results of activities, standardizing the CBT concept, identification of components and implementation methodology, and verification of marketing activities based on CBT.</p> <p>3.8 Compile recommendations and a guideline in a report to apply the national tourism model of CBT for entire Palestine.</p> <p>4.1 Conduct a study to analyze the conditions of the regional tourism industry among neighboring countries to clarify methods of linking the tourism sector with the identified issues in the market</p> <p>4.2 Set a venue for dialogue and share experiences among stakeholders for tourism development among neighboring countries.</p> <p>4.3 Compile a joint proposal in a report about the future direction of linkages with among neighboring countries.</p>	<p>PRECONDITIONS</p> <p>Jericho and other target cities accept the Project to implement CBT.</p>
--	--

*1 e.g. The number of visitors from abroad to TICs, shops, tourism sites, accommodation capacity, service capacity of tourism supporting facilities like hospital, police, transportation and others in Palestine

*2 e.g. Tourist information visiting Palestine such as country, age, sex, occupation, group/individual, duration, purpose, motivation, preference, visit experience (times of visit), destinations, activities, expenditures, satisfaction, obstacle and

*3 e.g. Creating Web site, the development of promotion tools, the presentation of internal and external exhibitions, and others

*4 e.g. Awareness of local residents, beautification of the city, improvement of information services by enhancing the function of TIC, support for local tour guides, the promotion for private sector to participate in LAG, holding bazaars and festivals, introduction of homestay programs and a code of conduct, the diversification of destinations, the improvement of services to backpackers, the increase of bus routes, the establishment of antenna shops, and others

Tentative Plan of Operation (PO)

ACTIVITIES	SCHEDULE											
	Year 1				Year 2				Year 3			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
<p><Output 1></p> <p>1.1 Conduct a baseline survey and research on the tourism sector** in the main Palestinian tourist sites.</p> <p>1.2 Clarify the issues to be tackled by implementing fact-finding surveys for visitors (including a needs survey)** in the main Palestinian tourist sites.</p> <p>1.3 Identify the issues to be tackled about tourism development in Palestine through analysis, discussion and workshops with private sector (tourist agencies, tour operators, bus companies, and others).</p> <p>1.4 Review existing strategies and action plans to promote the diversification of tourism in Palestine based on the results of workshop discussions.</p> <p>1.5 Implement activities for national tourism promotion (promotion activities, strategies for localities, and others)** to diversify the type of tourists and increase number of tourists in Palestine.</p> <p>1.6 Verify further promotion activities for sustainable tourism through a review of the results of the current project.</p> <p>1.7 Summarize recommendations for sustainable tourism development from the results of the verification.</p>												
<p><Output 2></p> <p>2.1 Reconfirm concepts and components of CBT (signage, tour guides, tourist information center (TIC), Local Action Group (LAG), printed materials, and Awareness of local residents) among relevant parties in Jericho.</p> <p>2.2 Clarify the issues to be tackled by reference of 1.1 and 1.2.</p> <p>2.3 Compile a strategy and action plan (including an annual action plan) to improve the issues and implementation of CBT with Jericho Heritage and Tourism Committee (JHTC) playing a central role.</p> <p>2.4 Organize workshops to enhance the participation of local residents, and the private sector in Jericho for CBT activities.</p> <p>2.5 Implement activities to embody CBT which include marketing and development of tourism products in Jericho**.</p> <p>2.6 Monitor activities mentioned in 2.5 in Jericho by JHTC.</p> <p>2.7 Revise the annual action plan based on activity conditions.</p> <p>2.8 Evaluate the results of CBT activities in Jericho as a whole by JHTC at the end of the implementation of the action plan.</p> <p>2.9 Compile Jericho's tourism vision, strategy, action plan, and framework formulation for sustainable CBT activities through targeted interventions designed to address issues identified through a review of 2.8.</p>												
<p><Output 3></p> <p>3.1 Verify the condition of the tourism sector in other target cities by reference of the results of 1.1 and 1.2.</p> <p>3.2 Share the concept and components of CBT and the implementation methodology among Jericho and other target cities.</p> <p>3.3 Identify the issues to be tackled for the implementation of CBT and marketing activities based on CBT.</p> <p>3.4 Support compiling of a tourism strategy and action plans.</p> <p>3.5 Support compiling of marketing strategies and action plans based on CBT.</p> <p>3.6 Support implementation of CBT activities including marketing.</p> <p>3.7 Define a national tourism model of CBT by reviewing the results of activities, standardizing the CBT concept, identification of components and implementation methodology, and verification of marketing activities based on CBT.</p> <p>3.8 Compile recommendations and a guideline in a report to apply the national tourism model of CBT for entire Palestine.</p>												
<p><Output 4></p> <p>4.1 Conduct a study to analyze the conditions of the regional tourism industry among neighboring countries to clarify methods of linking the tourism sector with the identified issues to be tackled.</p> <p>4.2 Set a venue for dialogue and share experiences among stakeholders for tourism development among neighboring countries.</p> <p>4.3 Compile a joint proposal in a report about the future direction of linkages with among neighboring countries.</p>												

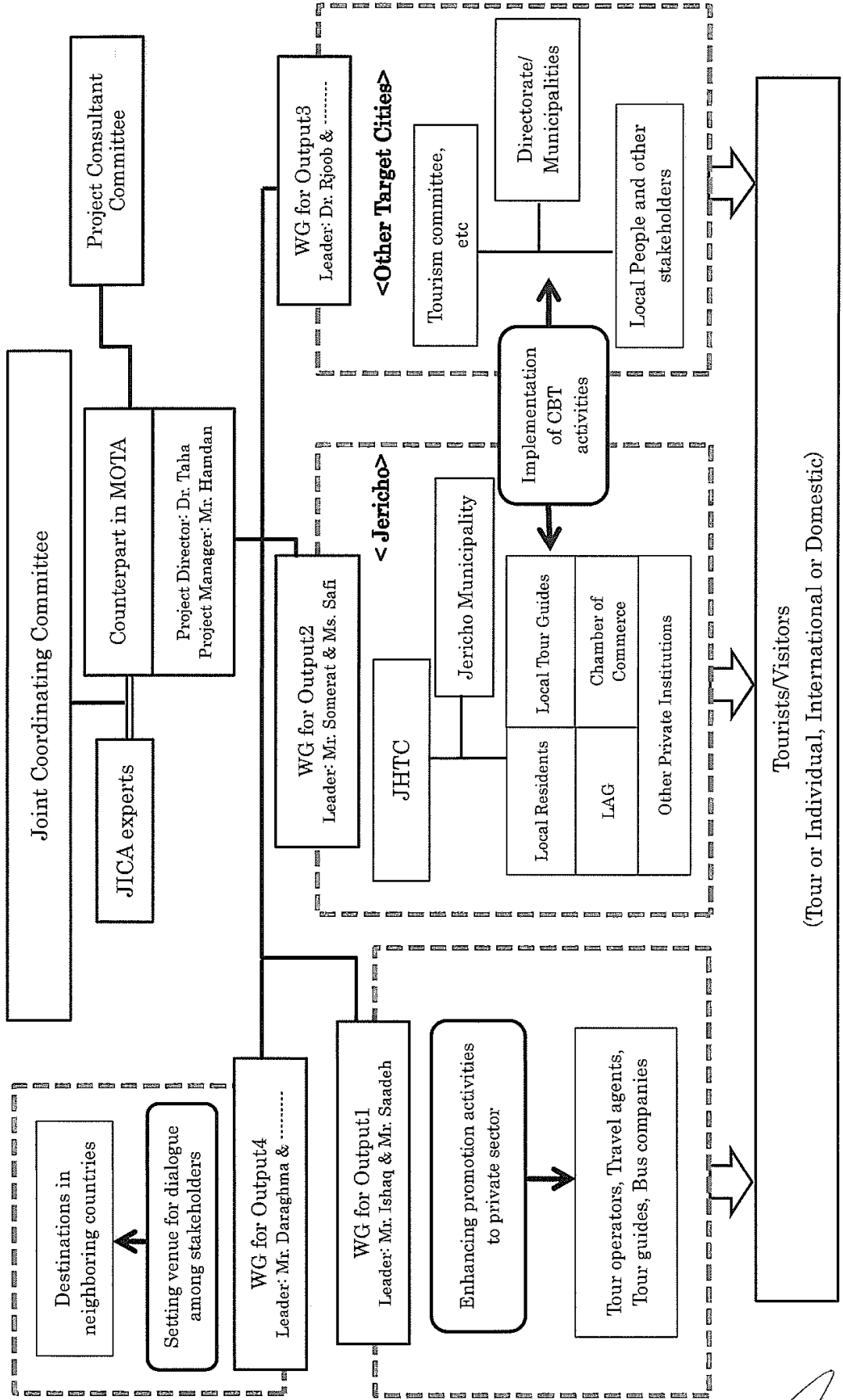
** e.g. The number of visitors from abroad to TICs, shops, tourism sites, accommodation capacity, service capacity of tourism supporting facilities like hospital, police, transportation and others in Palestine

** e.g. Tourist information visiting Palestine such as country, age, sex, occupation, group/individual, duration, purpose, motivation, preference, visit experience (times of visit), destinations, activities, expenditures, satisfaction, obstacles and others

** e.g. Creating Web site, the development of promotion tools, the presentation of internal and external exhibitions, and others

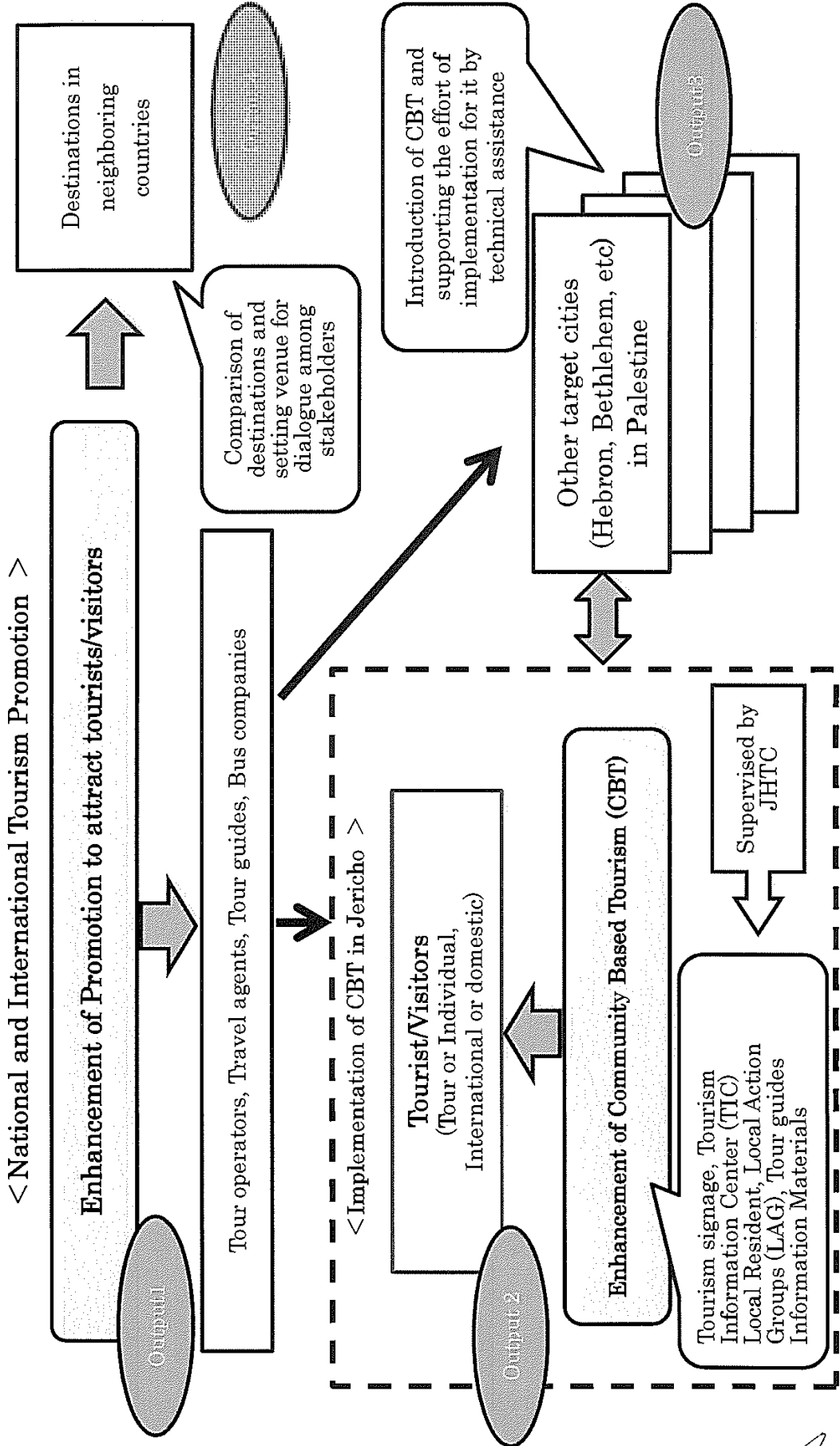
** e.g. Awareness of local residents, localization of the city, improvement of information services by enhancing the function of TIC, support for local tour guides, the promotion for private sector to participate in LAG, holding bazaars and festivals, introduction of homestay programs and a code of conduct, the diversification of destinations, the improvement of services to backpackers, the increase of bus routes, the establishment of antenna shops, and others

Structure of Implementation for the Project (Tentative)



[Handwritten signature]

Concept of the Project (Tentative)



[Handwritten signature]

List of Interviewees

1. Ministry of Tourism and Antiquities (MOTA)

HE.Rula Maayah	Minister
Dr. Hamadan Taha	Assistant Deputy Minister
Dr. Ahmed Rjoob	Director General, Site Development Department
Mr. Iyad Hamdan	Head of Jericho office
Mr. Majed Ishaq	Deputy Director General, Marketing Department
Mr. I. Yasen Iqteit	Hebron Office
Mr. Mahamoud Jabbarean	Hebron Office
Mr. Nahed Abdo	Nablus Office
Mr. Mahmoud Birawi	Nablus Office
Mr. Ihab Haj Daoud	Nablus Office
Ms. Nour Mohamad	Staff of TIC in Jericho

2. Ministry of Planning and Administrative Development (MOPAD)

Dr. Ibrahim Abdelrahim	Director of Americas & Far East Countries, D.G. Aid Management & Coordination
------------------------	--

3. Interviewees in Jericho

Mr. Hassan Saleh Hussein	Mayer, Jericho Municipality
Mr. Marwan Samarat	Public Relation Officer, Jericho Municipality
Ms. Nafisa Zorba	Temporary Staff of TIC, Jericho Municipality
Mr. Kazem A. Muaket	Manager of Chamber, Chamber of Commerce

4. Interviewees in Hebron

Dr. Sulaiman Jaradat	Governorate of Hebron
Mr. Marwan Sultan	Governorate of Hebron
Mr. Alaa Shahin	Hebron Municipality
Mr. Hisham Idwikat	Hebron Rehabilitation Committee
Mr. Nader Tamimi	Traditional Tourism Association
Mr. Bader Aldaour Altamimi	Traditional Handcrafts Center

5. Interviewees in Nablus

Mr. Adly R. Yaish	Mayor, Nablus Municipality
Mr. Amal Hudhud	Head of DES, Nablus Municipality



Ms. Rafif Malhas	Director of Woman Conner, Nablus Municipality
Mr. Sameh Al-Assi	City Engineer, Nablus Municipality
Mr. Firas Najjar	General Manager of Travel Agency
Mr. Khaled Musleh	Head of Public Relation Department, NCCI
Mr. Labeeb Zaidan	Tourism Police
Mr. Awwad Hamelan	Manager, Aslqusr Hold
Mr. Ayman Al-Shaka'a	Director, MCRC

6. Interviewees in other private sector

(1) Chamber of Commerce in Bethlehem

Ms. Fayrouz J. Khoury Deputy General Director

(2) Holly Land Incoming Tour Operation Association (HLITOA)

Mr. Sami Abu-Dayyeh President
 Mr. Raed Khatib Executive Director
 Mr. Rami Zeidan BOD General Secretary
 Ms. Christina Samara Former President
 Mr. Tony Khashram Member

(3) Palestinian Society of Tourist and Travel Agents (PSTTA)

Mr. Rami N. Khalifa Chairman
 Mr. Alaa Anwar Akel Member

(4) Beit Sahour Bus Company

Dr. Khalil Rashmawi General Manager

(5) Alternative Tourism Group (ATG)

Mr. Rami Kassis Executive Director

(6) Arab Hotel Association (AHA)

Mr. Raed Saadeh President
 Mr. Raed Khatib Secretary General

(Draft)
RECORD OF DISCUSSIONS
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR SUSTAINABLE TOURISM DEVELOPMENT IN JERICHO
AND ITS NEIGHBORHOOD
THROUGH PUBLIC-PRIVATE PARTNERSHIP
AGREED UPON BETWEEN
AUTHORITIES CONCERNED OF PALESTINIAN AUTHORITY
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") through its Resident Representative to Palestine, exchanged views and had a series of discussions with the relevant organizations of the Palestinian Authority (hereinafter referred to as "the PA") concerned with respect to the desirable measures to be taken by JICA and the PA side for the successful implementation of the Project for Sustainable Tourism Development in Jericho and its neighborhood through Public-Private Partnership (hereinafter referred to as "the Project")

As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the PA side, signed in Ramallah on November 15th, 2005 (hereinafter referred to as "the Agreement"), JICA and the authorities concerned of PA agreed on the matters referred to in the document attached hereto

Ramallah , XX XX, 2012

Mr. Izumi Tanaka
Chief Representative,
JICA Palestine Office
Japan International Cooperation
Agency (JICA)

HE. Rula Maayah
Minister
Ministry of Tourism and Antiquities
Palestinian Authority

HE. Mohammad Abu Ramadan
Minister
Ministry of Planning & Administrative
Development
Palestinian Authority



Based on the minutes of meetings on the Detailed Planning Survey on the Project signed on July 18th, 2012 between the Ministry of Tourism and Antiquities (hereinafter referred to as “MOTA”) and JICA, JICA held a series of discussions with MOTA and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

Both parties agreed the details of the Project and the main points discussed as described in Appendix 1 and Appendix 2 respectively.

Both parties also agreed that MOTA, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of the PA.

The Project will be implemented within the framework of the Agreement on Technical Cooperation signed on November 15, 2005 and the Note Verbales exchanged on June 16, 2011 between the Government of Japan (hereinafter referred to as “GOJ”) and the PA.

Appendix 1: Project Description

Appendix 2: Main Points Discussed

A handwritten signature in black ink, located in the bottom right corner of the page. The signature is stylized and appears to be a name followed by a date, possibly '10/10/10'.

PROJECT DESCRIPTION

1. Background

The number of tourists to Jericho was 230 thousand to 250 thousand from 1998 to 2000 and tourism related infrastructures such as hotels were developed at that time, the number of tourists sharply decreased to only 1200 in 2001 after the second intifada and it caused serious decrease of income from tourism. In 2005 when the security situation recovered, the number of tourist increased again to approximately 100 thousand and the tourism is expected to maintain its importance as one of the most important industries in Jericho. There are the hindering issues of tourism sector in Jericho in addition to security matters, insufficient utilization of historical/cultural heritages, lack of tourism products, lack of public relations about tourism information and so on, and they are expected to develop tourism in Jericho by improving such situations.

From the background mentioned above, JICA implemented technical cooperation Project for “Sustainable Tourism Development in Jericho through Public-Private Partnership from 2009 to 2012. In the previous project, Jericho Heritage Tourism Committee (JHTC) which is the platform in order to discuss tourism development among some representatives of Public and Private organizations was formulated and the system in order to implement Community Based Tourism ((hereinafter referred to as “CBT”)) with assigning highest priority to benefit local residents through JHTC was established. However, the CBT is still premature and the function promote tourists to come to Palestine is needed to be enhanced.

Therefore, the PA requested technical cooperation for the Project and GOJ accepted the request. JICA conducted the Detailed Planning Survey from July 2, 2012 to July 18, 2012. Both sides agreed the outline of the Project.

2. Outline of the Project

Details of the Project are described in Tentative Project Design Matrix (Annex 1) and the Tentative Plan of Operation (Annex 2).

(1) Title of the Project

Project for Sustainable Tourism Development in Jericho and its neighborhood through Public-Private Partnership

(2) Overall Goal

Tourism Development is enhanced in Palestine.

(3) Project Purpose

A national tourism model of CBT is enhanced in Jericho and applied in other target cities to develop tourism sector.



(4) Outputs

- 1) Tourism promotion which benefits the community of Palestine is enhanced.
- 2) Sustainable CBT activities are carried out in Jericho through Public-Private Partnerships.
- 3) Tourism development based on lessons learned from Jericho is utilized in other target cities.
- 4) Mutual cooperation with neighboring countries like Jordan, Israel and Egypt to develop tourism is promoted.

(5) Activities

1) For Output 1

- 1.1 Conduct a baseline survey and research on the tourism sector in the main Palestinian tourist sites.
- 1.2 Clarify the issues to be tackled by implementing fact-finding surveys for visitors (including a needs survey) in the main Palestinian tourist sites.
- 1.3 Identify the issues to be tackled about tourism development in Palestine through analysis, discussion and workshops with private sector (tourist agencies, tour operators, bus companies, and others).
- 1.4 Review existing strategies and action plans to promote the diversification of tourism in Palestine based on the results of workshop discussions.
- 1.5 Implement activities for national tourism promotion (promotion activities, strategies for location, and others) to diversify the type of tourists and increase number of tourists in Palestine.
- 1.6 Verify further promotion activities for sustainable tourism through a review of the results of the current project.
- 1.7 Summarize recommendations for sustainable tourism development from the results of the verification.

2) For Output 2

- 2.1 Reconfirm concepts and components of CBT (signage, tour guides, Tourist Information Center (TIC), Local Action Group (LAG), printed materials, and awareness of local residents) among relevant parties in Jericho.
- 2.2 Clarify the issues to be tackled by reference of 1.1 and 1.2.
- 2.3 Compile a strategy and action plan (including an annual action plan) to improve the issues and implementation of CBT with Jericho Heritage Tourism Committee (JHTC) playing a central role.
- 2.4 Organize workshops to enhance the participation of local residents, and the private sector in Jericho for CBT activities.
- 2.5 Implement activities to embody CBT which include marketing and development of tourism products in Jericho.
- 2.6 Monitor activities mentioned in 2.5 in Jericho by JHTC.
- 2.7 Revise the annual action plan based on activity conditions.
- 2.8 Evaluate the results of CBT activities in Jericho as a whole by JHTC at the end of the implementation of the action plan.
- 2.9 Compile Jericho's tourism vision, strategy, action plan, and framework formulation for sustainable CBT activities through targeted interventions designed to address issues identified through a review of 2.8.

A handwritten signature in black ink, followed by the date '1/11/10' written vertically.

3) For Output 3

- 3.1 Verify the condition of the tourism sector in other target cities by reference of the results of 1.1 and 1.2.
- 3.2 Share the concept and components of CBT and the implementation methodology among Jericho and other target cities.
- 3.3 Identify the issues to be tackled for the implementation of CBT and marketing activities based on CBT.
- 3.4 Support compiling of a tourism strategy and action plans.
- 3.5 Support compiling of marketing strategies and action plans based on CBT.
- 3.6 Support implementation of CBT activities including marketing.
- 3.7 Define a national tourism model of CBT by reviewing the results of activities, standardizing the CBT concept, identification of components and implementation methodology, and verification of marketing activities based on CBT.
- 3.8 Compile recommendations and a guideline in a report to apply the national tourism model of CBT for entire Palestine.

4) For Output 4

- 4.1 Conduct a study to analyze the conditions of the regional tourism industry among neighboring countries to clarify methods of linking the tourism sector with the identified issues to be tackled.
- 4.2 Set a venue for dialogue and share experiences among stakeholders for tourism development among neighboring countries
- 4.3 Compile a joint proposal in a report about the future direction of linkages with among neighboring countries.

(6) Input

1) Input by the Japanese side

(a) Experts

Chief Advisor, Tourism Promotion, CBT Coordinator, and short-term experts will be dispatched in accordance with the needs for the effective implementation of the Project.

(b) Training

JICA will receive personnel for trainers' training for CBT and tourism promotion training in Japan and/or study tour for exhibition to Arab countries (e.g. Jordan) and/or Asian countries if deemed necessary for the effective implementation of the Project.

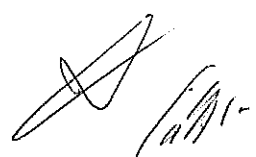
(c) Equipment

JICA will provide equipment if deemed necessary for the Project activities upon mutual agreement.

Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and MOTA during the implementation of the Project, as necessary.

2) Input by the PA side

The PA side will take necessary measures to provide at its own expense: Services of the PA side's counterpart personnel as referred to in 2.(7)1);



- (a) Suitable office spaces in Jericho and Bethlehem / Ramallah with necessary equipment like table, chairs, telephone, fax, copy machine, air conditioner, and others
- (b) Information as well as support in obtaining medical service;
- (c) Credentials or identification cards;
- (d) Available data (including maps and photographs) and information related to the Project;

(7) Implementation Structure

Structure of Implementation for the Project (Tentative) is shown in ANNEX 3.

1) The PA side

(a) Project Director

- a) Assistant Deputy Minister, Department of Antiquities and Cultural Heritage, MOTA
- b) Project Director will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.

(b) Project Manager

- a) Project Manager; Director, MOTA Jericho Office
- b) Project Manager will be responsible for managerial and technical matters.

(c) WG Leaders

- a) Output 1;
 - Public; Deputy Director General, Marketing Department, MOTA
 - Private; President, Arab Hotels Association
- b) Output 2;
 - Public;
 - Public Relation Officer, Jericho Municipality &
 - Staff of MOTA Jericho Office
 - Private; to be decided
- c) Output 3;
 - Public; Director, Sites Development Department, MOTA
 - Private; to be decided
- d) Output 4;
 - Public; Director, Investment Department, MOTA
 - Private; to be decided

2) JICA Experts

JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendation to the PA side on any matters pertaining to the implementation of the Project.

3) Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least twice a year and whenever deems it necessary. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project.

List of proposed members of JCC is shown in ANNEX4.

4) Working Groups

Working Groups (hereinafter referred to as "WG") will be established in order to facilitate the detail activities for each output. WG for output 1 & 2 will be held at least four times a year and WG for output 3 & 4 will be held at least twice a year, and whenever deems it necessary. WG will approve an activities, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of each output, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project.

List of proposed members of WG is also shown in ANNEX4.

(8) Project Sites and Beneficiaries

The municipalities, chamber of commerce, tourism service providers and local communities in Jericho and other target cities

(9) Duration

The duration of the Project will be three (3) years

(10) Environmental and Social Considerations

The PA side agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.

3. Undertakings of the PA side

(1) The PA side will take necessary measures to:

- 1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Palestinian nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Palestinians, and that the knowledge and experience acquired by the Palestinian personnel from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized effectively in the implementation of the Project; and
- 2) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts and their families, which are no less favorable than those granted to experts and members of the missions and their families of third countries or international organizations performing similar missions to the PA.

(2) The PA side will take necessary measures based on the Agreement.

(3) The PA side will bear claims, if any arises, against the JICA experts resulting from occurring in the course of the Project based on the Agreement, except when such claims arise from gross negligence of willful misconduct on the part of the JICA experts.



4. Evaluation

JICA and the PA side will jointly conduct the following evaluations and reviews.

- (1) Mid-term review at the middle of the cooperation term
- (2) Terminal evaluation during the last six (6) months of the cooperation term

5. Promotion of public support

For the purpose of promoting support for the Project, the PA side will take appropriate measures to make the Project widely known to the Palestinian people.

6. Mutual Consultation

JICA and the PA side will consult each other whenever any major issues arise in the course of the Project implementation.

7. Amendments

The Record of Discussions may be amended by the minutes of meeting between JICA and the PA side.

The minutes of meeting will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the Record of Discussions.

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page.

Main points discussed

1. Target cities

The other target cities apart from Jericho will be selected before the commencement of the Project. Commitment of all candidate cities must be confirmed.

2. Counterpart

The assignment of counterpart personnel is shown in 2.(7)1) and the Terms of References (TOR) for each WG leaders and members will be identified before the commencement of the Project.

3. Location of JICA experts

PA side strongly requested that JICA experts stay in Palestine territories for smooth implementation of the Project as much as possible.

4. Training

Third country training will be held in Arab countries such as Jordan and Egypt. The location will be discussed.

5. Budget

Both sides will estimate the cost of the Project and secure the budget for effective implementation of the Project.

6. CBT

Both sides confirmed that CBT should be based on the baseline survey and the fact-finding surveys for visitors (including a needs survey).

7. Clarification of scope of work in other target cities

The consensus that the Project just shares national tourism model to other target cities and activities will be implemented mainly by parties in the other target cities must be built before the commencement of the project.

Annex 1 Tentative Project Design Matrix (PDM)

Annex 2 Tentative Plan of Operation

Annex 3 Structure of Implementation for the Project (Tentative)

Annex 4 List of proposed members of JCC and WG

Handwritten signature and date, possibly '1/27/15'.

List of proposed members of JCC and WG

1. JCC Members

(1) Chairperson

Assistant Deputy Minister, Department of Antiquities and Cultural Heritage,
Ministry of Tourism and Antiquities

(2) Members

1) PA side

(a) Director, Americas & Far East Countries, D.G. Aid Management &
Coordination, Ministry of Planning & Administrative Development

(b) Mayer, Jericho Municipality

2) Japanese side

(a) Experts assigned to the Project

(b) Resident Representative of JICA Palestinian Office

Notes

* Officials of the Embassy of Japan may attend the Committee meetings as
observers.

* Persons who are designated by the Chairperson may attend the Committee
meetings

2. Working Groups

(1) Members for Output 1

1) Public; Deputy Director General, Marketing Department, MOTA

2) Private; President, Arab Hotels Association

(2) Members for Output 2

1) Public;

(a) Public Relation Officer, Jericho Municipality

(b) Staff of MOTA Jericho Office

2) Private; to be decided

(3) Members for Output 3

1) Public; Director, Sites Development Department, MOTA

2) Private; to be decided

(4) Members for Output 4

1) Public; Director, Investment Department, MOTA

2) Private; to be decided



RECORD OF DISCUSSIONS
 ON
 PROJECT FOR SUSTAINABLE TOURISM DEVELOPMENT
 THROUGH PUBLIC-PRIVATE PARTNERSHIP (Phase 2)
 IN
 PALESTINE
 AGREED UPON BETWEEN
 AUTHORITIES CONCERNED OF PALESTINIAN AUTHORITY
 AND
 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Ramallah, December 24, 2012

for 伊藤 直人


 Mr. Izumi Tanaka
 Chief Representative,
 JICA Palestine Office
 Japan International Cooperation
 Agency (JICA)

Rula Maayah

 H.E. Rula Maayah
 Minister
 Ministry of Tourism and Antiquities
 Palestinian Authority

Mohammad Abu Ramadan

 H.E. Mohammad Abu Ramadan
 Minister of State for Planning Affairs
 Palestinian Authority



Based on the minutes of meetings on the Detailed Planning Survey on Technical Cooperation Project for Sustainable Tourism Development through Public-Private Partnership (Phase2) (hereinafter referred to as "the Project") signed on July 18, 2012 between the Ministry of Tourism and Antiquities (hereinafter referred to as "MOTA") and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), JICA held a series of discussions with MOTA and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

Both parties agreed the details of the Project and the main points discussed as described in the Appendix 1 and the Appendix 2 respectively.

Both parties also agreed that MOTA, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of Palestinians.

The Project will be implemented within the framework of the Agreement on Technical Cooperation signed on November 15, 2005 (hereinafter referred to as "the Agreement") and the Note Verbales exchanged on June 13, 2012 between the Government of Japan (hereinafter referred to as "GOJ") and the Palestinian Authority (hereinafter referred to as "PA").

Appendix 1: Project Description
Appendix 2: Main Points Discussed

A handwritten signature in black ink, appearing to be 'Foufou alid', written in a cursive style.

PROJECT DESCRIPTION

I. BACKGROUND

The number of tourists to Jericho increased from 230 thousand to 250 thousand between 1998 and 2000 and tourism related infrastructures such as hotels were developed during this period. However, the number of tourists sharply decreased to only 1200 in 2001 during the second Intifada and it caused serious decrease of income from tourism. In 2005 when the security situation recovered, the number of tourist increased again to approximately 100 thousand. The tourism is now expected to be one of the most important industries in Jericho. There are the challenges to be tackled in Jericho tourism sector such as insufficient utilization of historical/cultural heritages, lack of tourism products, and lack of public relations about tourism information etc., which are important to develop tourism in addition to security matters.

Based on the background mentioned above, JICA implemented technical cooperation Project for "Sustainable Tourism Development in Jericho through Public-Private Partnership from 2009 to 2012. In this project, Jericho Heritage Tourism Committee (hereinafter referred to as "JHTC") which is the platform to discuss tourism development among representatives of public and private organizations was formulated and the system to implement Community Based Tourism ((hereinafter referred to as "CBT")) with putting highest priority on benefit for local residents was established. However, the CBT is still premature and the tourism promotion should be enhanced.

Under these circumstances, the PA requested the technical cooperation project and GOJ accepted the request. JICA conducted the Detailed Planning Survey from July 2, 2012 to July 21, 2012. Both sides agreed the outline of the Project.

II. OUTLINE OF THE PROJECT

Details of the Project are described in the Logical Framework (Project Design Matrix; PDM) (Annex 1) and the tentative Plan of Operation (Annex 2).

1. Title of the Project


Project for Sustainable Tourism Development through Public-Private Partnership (Phase2)

2. Overall Goal

The methodology for tourism development established by the project is actively implemented in Palestine and the number of tourists visiting the developed tourist sites by the project is increased to benefit the local community.

3. Project Purpose

The methodology of tourism development in Palestine, considering CBT, is established.



4. Outputs

- (1) The issues in tourism development benefitting local community are clarified.
- (2) The Tourism promotion of Palestine is implemented.
- (3) Sustainable CBT activities are carried out in Jericho through Public-Private Partnerships.
- (4) Tourism development based on lessons learned from Jericho is utilized in other target areas.
- (5) Mutual cooperation with neighboring countries like Jordan, Israel and Egypt to develop tourism is promoted.

5. Activities

Details of Activities are described in the Logical Framework (Project Design Matrix; PDM) (Annex 1)

6. Input

(1) Input by JICA

(a) Dispatch of Experts

Chief Advisor / Tourism Promotion, Community Based Tourism, Project Coordinator and other short-term experts will be dispatched in accordance with the needs for the effective implementation of the Project.

(b) Training

JICA will receive personnel for CBT and tourism promotion training in Japan and/or study tour for exhibition to Arab countries (e.g. Jordan) and/or Asian countries if deemed necessary for the effective implementation of the Project.

(c) Machinery and Equipment

JICA will provide machinery and equipment if deemed necessary for the Project activities upon mutual agreement.

Input other than indicated above will be determined through mutual consultations between JICA and MOTA during the implementation of the Project, as necessary.

(2) Input by MOTA

MOTA will take necessary measures to provide at its own expense:

- (a) Services of MOTA's counterpart personnel as referred to in II-7.;
- (b) Suitable office spaces in Jericho and Bethlehem / Ramallah with necessary equipment such as tables, chairs, telephone, fax, copy machine, air conditioner, and others
- (c) Information as well as support in obtaining medical service;
- (d) Credentials or identification cards;
- (e) Available data (including maps and photographs) and information related to the Project;

7. Implementation Structure

The Project organization chart is given in the Annex 3. The roles and assignments of relevant organizations are as follows:

(1) MOTA

(a) Project Director

Assistant Deputy Minister, Department of Antiquities and Cultural Heritage,
MOTA

Project Director will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.

(b) Project Manager

Director, MOTA Jericho Office

Project Manager will be responsible for managerial and technical matters.

(c) WG Leaders

i. Output 2;

• Public; Deputy Director General, Marketing Department, MOTA

• Private; President, Arab Hotels Association

ii. Output 3;

• Public;

- Public Relation Officer, Jericho Municipality

- Staff of MOTA Jericho Office

• Private; to be decided

iii. Output 4;

• Public; Director, Sites Development Department, MOTA

• Private; to be decided

iv. Output 5;

• Public; Director, Investment Department, MOTA

• Private; to be decided

(2) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendation to MOTA on any matters pertaining to the implementation of the Project.

(3) Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project. A list of proposed members of JCC is shown in the Annex4.

(4) Working Groups

Working Groups (hereinafter referred to as "WG") will be established in order to facilitate the detail activities for output 2, 3, 4, and 5.

Official WG meeting for output 2 and 3 will be held at least four times a year and Official WG meeting for output 4 and 5 will be held at least twice a year, and whenever deems it necessary. WG will approve activities, review the progress, conduct monitoring and evaluation of each output, and exchange

opinions on major issues that arise during the implementation of the Project.

List of proposed members of WG Leaders is also shown in Annex4.

8. Project Sites and Beneficiaries

(1) Project Sites:

Jericho and other target areas (Hebron, Bethlehem, Ramallah-Al Bireh, Nablus, Tulkarem)

(2) Beneficiaries:

The municipalities, chamber of commerce, tourism service providers and local communities in Jericho and other target areas

9. Duration

The duration of the Project will be three (3) years

10. Environmental and Social Considerations

MOTA agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.

III. UNDERTAKINGS OF MOTA

1. MOTA will take necessary measures to:

(1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Palestinian nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Palestinians, and that the knowledge and experience acquired by the Palestinian personnel from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized effectively in the implementation of the Project; and

(3) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts and their families, which are no less favorable than those granted to experts and members of the missions and their families of third countries or international organizations performing similar missions in Palestine.

2. MOTA will take necessary measures based on the Agreement.

IV. EVALUATION

JICA and MOTA will jointly conduct the following evaluations and reviews.

1. Mid-term review at the middle of the cooperation term
2. Terminal evaluation during the last six (6) months of the cooperation term

V. PROMOTION OF PUBLIC SUPPORT

For the purpose of promoting support for the Project, MOTA will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Palestine.

VI. MUTUAL CONSULTATION


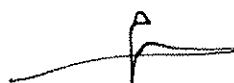
JICA and MOTA will consult each other whenever any major issues arise in the course of Project implementation.

VII. AMENDMENTS

The Record of Discussions may be amended by the minutes of meeting between JICA and MOTA.

The minutes of meeting will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the record of discussions.

- Annex 1 Logical Framework (Project Design Matrix; PDM)
- Annex 2 Tentative Plan of Operation
- Annex 3 Project Organization Chart
- Annex 4 A List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee/
Steering Committee and Leaders of Working Groups



Logical Framework (Project Design Matrix; PDM)

Name of the Project: Sustainable Tourism Development through Public-Private Partnership (Phase 2)

Duration : Three years

Date: December 24, 2012

Target Area: Jericho and other target areas

Target Group : MOTA and Stakeholders of Tourism Development in Jericho and other target areas

PDM Ver.0

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATIONS	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>OVERALL GOAL</p> <p>The methodology for tourism development established by the project is actively implemented in Palestine and the number of tourists visiting the developed tourist sites by the project is increased to benefit the local community</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 Tourism strategies and action plans are drafted or revised, and activities in XX areas are begun or continued based on the methodology for tourism development established by the project. 2 Number of tourist visiting the developed tourist sites by the Project increases by XX% 3 Tourist sites visited by tourists increases by XX%. 4 Those involved in the activities described in the above action plans are satisfied (target increase of XX%) 	<p>Document of MOTA, Interview to stakeholders of each area in Palestine</p> <p>Document of MOTA</p> <p>Document of MOTA</p> <p>Document of MOTA, Interview to stakeholders of each area in Palestine</p>	<p>Tourism Policy of the PA is not changed</p>
<p>PROJECT PURPOSE</p> <p>The methodology of tourism development in Palestine, considering CBT, is established.</p> <p>OUTPUTS</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 The issues in tourism development benefitting local community are clarified. 2 The Tourism promotion of Palestine is implemented. 	<ol style="list-style-type: none"> 1 The methodology for incorporating CBT into Palestinian tourism development is explicitly outlined into MOTA'S tourism strategy and action plan. 2 CBT activities in Jericho that are described in the action plan are sustained (at least XX). 3 Promotion activities in Palestine that are described in the action plan are sustained (at least XX). 1 Issues for tourism development are shared amongst relevant stakeholders through 1.3 workshops and discussions. 2-1 The action plan for tourism promotion is revised 2-2 XX action plans are implemented. 	<p>Document of MOTA</p> <p>Interview to Jericho Municipality</p> <p>Interview to MOTA</p> <p>Project Document, Interview to stakeholders</p> <p>Document of MOTA</p> <p>Project Document, Interview to stakeholders</p>	<p>International and domestic market of tourism have been kept in good</p> <p>Security condition is not worsen around of</p> <p>Tourism-related private sector keep to accept the project</p> <p>Residents in Jericho keep to accept the project</p> <p>Intention to introduce CBT will not change in MOTA.</p>

<p>3 Sustainable CBT activities are carried out in Jericho through Public-Private Partnerships.</p> <p>4 Tourism development based on lessons learned from Jericho is utilized in other target areas.</p> <p>5 Mutual cooperation with neighboring countries such as Jordan, Israel and Egypt to develop tourism is promoted</p>	<p>3-1 Quarterly JHTC meetings are held in Jericho to revise the CBT-incorporated tourism strategy and action plan.</p> <p>3-2 XX CBT activities described in the action plan begin.</p> <p>4-1 The methodology for incorporating CBT into tourism development is explicitly outlined into other target cities' tourism strategies and action plans.</p> <p>4-2 Pilot projects begin in other target areas based on portions of the action plan.</p> <p>5 A proposal for mutual cooperation with neighboring countries to tackle issues of tourism development is drafted.</p>	<p>Project Document, Interview to stakeholders</p> <p>Project Document, Interview to stakeholders</p> <p>Document of each municipality</p> <p>Document of each municipality, Interview to stakeholders</p> <p>Project Document</p>
<p>INPUTS</p>		
<p>1.1 Conduct a baseline survey and research on the tourism sector*1 in the target areas.</p> <p>1.2 Clarify the issues to be tackled by implementing fact-finding surveys for visitors (including a needs survey)*2 in the main Palestinian tourist sites.</p> <p>1.3 Identify the issues to be tackled about tourism development in Palestine through analysis, discussions and workshops with private sector (tourist agencies, tour operators, bus companies, and others).</p> <p>1.4 Review existing tourism strategies and action plans to increase the number of tourists and diversify their destinations in Palestine based on the results of discussions and workshops.</p> <p>1.5 Conduct an endline survey on the tourism sector in the target areas.</p> <p>2.1 Implement activities for national tourism promotion*3 based on 1.1 - 1.4.</p> <p>2.2 Clarify issues in promotion for sustainable tourism development through review of the promotion activities.</p> <p>2.3 Summarize recommendations for sustainable tourism development considering the issues clarified in 2.2 and revise action plan.</p>	<p>the PA side:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Allocation of counterpart personnel • Office space and facilities for the Project • Local cost for counterpart <p>Japanese side:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Dispatch of experts such as Chief Advisor, Tourism Promotion, CBT, Project Coordinator and other short-term experts • Training of personnel in Japan and /or a third country • Equipment necessary for project activities 	

- 3.1 Review the activities for tourism development in and after the foregoing project in Jericho.
- 3.2 Clarify the issues to be tackled for CBT implementation by reference of 1.1 and 1.2.
- 3.3 Based on the issues to be tackled for CBT implementation, compile a tourism strategy and action plan (including an annual action plan) to implement CBT with Jericho Heritage Tourism Committee (JHTC) playing a central role.
- 3.4 Organize workshops to enhance the participation of local residents, and the private sector in Jericho for CBT
- 3.5 Implement activities to embody CBT which include marketing and development of tourism products in
- 3.6 Monitor CBT activities.
- 3.7 Revise the annual action plan based on activity conditions.
- 3.8 Evaluate the results of CBT activities in Jericho as a whole at the end of the implementation of the action plan.
- 3.9 Revise Jericho's tourism vision, strategy and action plan for sustainable CBT activities in Jericho through targeted interventions designed to address issues identified through a review of 3.8.
- 3.10 Formulate a framework to conduct activities mentioned in 3.1–3.9 continuously.
- 4.1 Verify the condition of the tourism sector in other target areas by reference of the results of 1.1 and 1.2.
- 4.2 Share the concept and components of CBT and the implementation methodology among Jericho and other target areas.
- 4.3 Identify the issues to be tackled for the implementation of CBT and marketing activities for incorporating CBT.
- 4.4 Support compiling of a tourism strategies and action plans for incorporating CBT.
- 4.5 Support compiling of marketing strategies and action plans for incorporating CBT.

<p>4.6 Support a part of CBT activities including marketing which are implemented with strong initiative of other target areas through a pilot project.</p> <p>4.7 By reviewing the results of activities in Jericho and other target areas, define a methodology for incorporating CBT, standardize the CBT concept, identify components and implementation methodology of CBT, and verify marketing activities for incorporating CBT.</p> <p>4.8 Compile recommendations and a guideline in a report to introduce a methodology for incorporating CBT into Palestinian tourism development for entire Palestine.</p> <p>5.1 Conduct a study to analyze the conditions of the regional tourism industry among neighboring countries to clarify methods of linking the tourism sector with the identified issues to be tackled.</p> <p>5.2 Set a venue for dialogue and share experiences among stakeholders for tourism development among neighboring countries.</p> <p>5.3 Compile a proposal in a report about the future direction of linkages with neighboring countries.</p>	<p>PRECONDITIONS</p> <p>Security condition is not worsen around of Palestine.</p> <p>Tourists are not forbidden to get into Palestine.</p> <p>Project staffs are properly allocated.</p>
--	---

*1 e.g. The number of visitors from abroad to TICs, shops, tourism sites, accommodation capacity, service capacity of tourism supporting facilities like hospital, police,

*2 e.g. Tourist information visiting Palestine such as country, age, sex, occupation, group/individual, duration, purpose, motivation, preference, visit experience (times of

*3 e.g. Creating Web site, the development of promotion tools, the presentation of internal and external exhibitions, and others

*4 e.g. Awareness of local residents, beautification of the city, improvement of information services by enhancing the function of TIC, support for local tour guides, the promotion

m

[Handwritten signature]

Tentative Plan of Operation

Project title: Sustainable Tourism Development through Public-Private Partnership (Phase 2)	SCHEDULE												Ver. 0				
	Year 1			Year 2			Year 3			Year 4							
ACTIVITIES	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
<p><Output 1></p> <p>1.1 Conduct a baseline survey and research on the tourism sector*¹ in the target areas</p> <p>1.2 Clarify the issues to be tackled by implementing (conducting surveys for visitors (including a needs survey)** in the main Palestinian tourist sites.</p> <p>1.3 Identify the issues to be tackled about tourism development in Palestine through analysis, discussions and workshops with private sector (tourist agencies, tour operators, bus companies, and others).</p> <p>1.4 Review existing tourism strategies and action plans to increase the number of tourists and diversify their destinations in Palestine based on the results of discussions and workshops.</p> <p>1.5 Conduct an online survey on the tourism sector in the target areas.</p> <p><Output 2></p> <p>2.1 Implement activities for national tourism promotion* based on 1.1 - 1.4.</p> <p>2.2 Clarify issues in promotion for sustainable tourism development through review of the promotion.</p> <p>2.3 Summarize recommendations for sustainable tourism development considering the issues identified in 2.2 and revise action plan.</p> <p><Output 3></p> <p>3.1 Review the activities for tourism development in and after the foregoing project in Jericho.</p> <p>3.2 Clarify the issues to be tackled for CBT implementation by reference of 1.1 and 1.2.</p> <p>3.3 Based on the issues to be tackled for CBT implementation, compile a tourism strategy and action plan (including an annual action plan) to implement CBT with Jericho Heritage Tourism Committee (JHTC) playing a central role.</p> <p>3.4 Organize workshops to enhance the participation of local residents, and the private sector in Jericho for CBT activities.</p> <p>3.5 Implement activities to embody CBT which include marketing and development of tourism products in Jericho.**</p> <p>3.6 Monitor CBT activities.</p> <p>3.7 Revise the annual action plan based on activity conditions.</p> <p>3.8 Evaluate the results of CBT activities in Jericho as a whole at the end of the implementation of the action plan.</p> <p>3.9 Revise Jericho's tourism vision, strategy and action plan for sustainable CBT activities in Jericho through targeted interventions designed to address issues identified through a review of 3.8.</p> <p>3.10 Formulate a framework to conduct activities mentioned in 3.1-3.9 continuously.</p> <p><Output 4></p> <p>4.1 Verify the condition of the tourism sector in other target areas by reference of the results of 1.1 and 1.2.</p> <p>4.2 Share the concept and components of CBT and the implementation methodology among Jericho and other target areas.</p> <p>4.3 Identify the issues to be tackled for the implementation of CBT and marketing activities for incorporating CBT.</p> <p>4.4 Support compiling of a tourism strategies and action plans for incorporating CBT.</p> <p>4.5 Support compiling of marketing strategies and action plans for incorporating CBT.</p> <p>4.6 Support a part of CBT activities including marketing which are implemented with strong initiative of other target areas through a pilot project.</p> <p>By reviewing the results of activities in Jericho and other target areas, define a methodology for incorporating CBT.</p> <p>4.7 Standardize the CBT concept, identify components and implementation methodology of CBT, and verify marketing activities for incorporating CBT.</p> <p>4.8 Compile recommendations and a guideline in a report to introduce a methodology for incorporating CBT into Palestinian tourism development for entire Palestine.</p> <p><Output 5></p> <p>5.1 Conduct a study to analyze the conditions of the regional tourism industry among neighboring countries to clarify methods of linking the tourism sector with the identified issues to be tackled.</p> <p>5.2 Set a venue for dialogue and share experiences among stakeholders for tourism development among neighboring countries.</p> <p>5.3 Compile a proposal in a report about the future direction of initiatives with neighboring countries.</p>																	

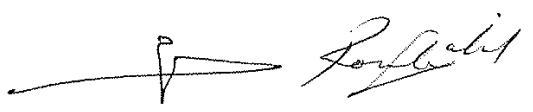
* e.g. The number of visitors from abroad to TICs, shops, tourism sites, accommodation capacity, service capacity of tourism supporting facilities like hospital, police, transportation and others in Palestine

** e.g. Tourist information visiting Palestine such as country, age, sex, occupation, group/individual, duration, purpose, motivation, preference, visit experience (times of visit), seasonalities, activities, expenditures, satisfaction, obstacle and others

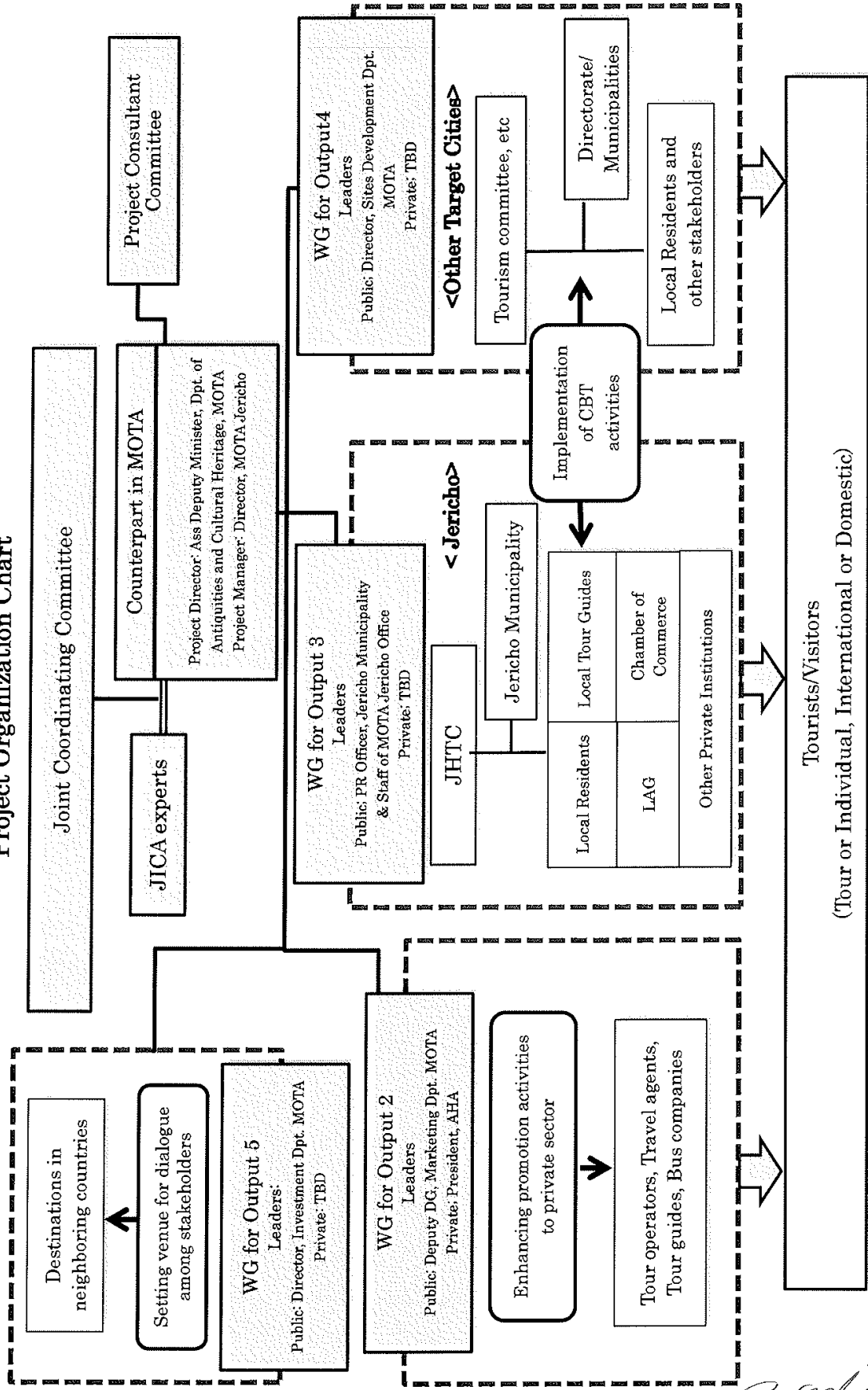
** e.g. Creating Web site, the development of promotion tools, the promotion of national and external exhibitions, and others.

** e.g. Awareness of local residents, beautification of the city, improvement of information services by enhancing the function of TIC, support for local tour guides, the promotion for private sector to participate in LAG, holding bazaars and festivals, introduction of homestay programs and a code of conduct, the diversification of destinations, the improvement of services to backpackers, the increase of bus routes, the establishment of antenna shops, and others

M



Project Organization Chart



List of proposed members of JCC and WG Leaders

1. JCC Members

- (1) Chairperson
Assistant Deputy Minister, Department of Antiquities and Cultural Heritage,
Ministry of Tourism and Antiquities
- (2) Members
 - 1) PA side
 - (a) Director, Americas & Far East Countries, D.G. Aid Management & Coordination, Ministry of Planning & Administrative Development
 - (b) Mayor, Jericho Municipality
 - 2) Japanese side
 - (a) Experts assigned to the Project
 - (b) Resident Representative of JICA Palestinian Office

Notes

- * Officials of the Embassy of Japan may attend the Committee meetings as observers.
- * Persons who are designated by the Chairperson may attend the Committee meetings

2. Working Groups Leaders

- (3) Output 2;
 - Public; Deputy Director General, Marketing Department, MOTA
 - Private; President, Arab Hotels Association
- (4) Output 3;
 - Public;
 - Public Relation Officer, Jericho Municipality
 - Staff of MOTA Jericho Office
 - Private; to be decided
- (5) Output 4;
 - Public; Director, Sites Development Department, MOTA
 - Private; to be decided
- (6) Output 5;
 - Public; Director, Investment Department, MOTA
 - Private; to be decided

m

[Handwritten signature]

Main points discussed

1. Target areas

The target areas other than Jericho are decided to be Hebron, Bethlehem, Ramallah-Al Bireh, Nablus and Tulkarem as MOTA requested to JICA. The reasons of the selection are their characteristics as tourism development described below.

- (1) Hebron: Religious Pilgrimages and Commercial Tourism, and others
- (2) Bethlehem: Pilgrimage Destination, and others
- (3) Ramallah-Al Bireh: Contemporary culture such as cafes, restaurants, museums, and others
- (4) Nablus: Historical heritages such as the old city, constructions of the Roman era, places described in the Old / New Testament, and others
- (5) Tulkarem: Tourism attractions such as amusement park especially for children, and others

2. Consensus of the scope of work in other target areas

The scope of work in other target areas is as indicated below. Consensus about it has been built with stakeholders in the other target areas.

- (1) The project will support formulating tourism strategies and action plans for incorporating CBT, and a part of CBT activities which are implemented by stakeholders (including public and private sector) of other target areas as a pilot project. The initiative of each activity has to be taken by 5 target areas instead of the project.
- (2) In the action plans to develop the tourism sector in each target area, infrastructure improvement could be included. However, the main purpose of the project is technical transfer and can only bear the cost of minimum equipment which is necessary for the implementation of the project.
- (3) The project can only bear small part of total cost as a pilot project and target areas are required to bear the rest of it.

3. Vehicle

The vehicle which was provided in the previous project will be utilized in the project as well. And another one will be also provided by JICA to utilize in the Project.

4. Counterpart

The assignment of counterpart personnel is shown in II-7. and the Terms of References (TOR) for each WG leaders and members will be identified at the commencement of the Project.

5. CBT

Both sides confirmed that tourism strategies and action plans for incorporating CBT should be reflected the result of the baseline survey and the fact-finding surveys for visitors (including a needs survey).

M

[Signature]

Foufahat

3. 現地収集資料リスト

1. パンフレット、地図

- A Code of Conduct for Tourism in the Holy Land, A Palestinian Initiative (Palestinian Initiative of Responsible Tourism)
- Welcome to Palestine (Palestinian Police and Tourist and Antiquities Police)
- A Guide to the Cities of Palestine (Ministry of Tourism & Antiquities)
- Palestine, The Holy Land, Jericho Tourist Map (Year 2010 Edition)
- Tell Es-Sultan, Jericho
- Hisham's Palace, Jericho
- Zacchaeus Sycamore Tree
- Bethlehem, a city for peace (Commission of the European Communities)
- Nablus Tourism Map
- Breik mill (Nablus- Yasmina neighborhood - near the mosque Alsaton)
- Hebron (Ministry of Tourism & Antiquities)
- Hebron Rehabilitation Committee
- Restoration of Khan Al Wakala Project (Khan Al Wakala Heritage and Civilization)

2. 本、出版物

- The Annual Report (The Chamber of Commerce Industry and Agriculture in the Governorate of Jericho)
- Strategic Development and Investment Plan (SDIP) for Nablus 2012-2015 (Nabulus Municipality)
- Combating Dispossession, Towards a Code of Ethics for Tourism and Palestine (Alternative Tourism Group)
- Come & See, A Call from Palestinian Christians, Guidelines for Christians Contemplating a Pilgrimage to the Holy Land (Alternative Tourism Group)
- Life Under Occupation, An introduction to the situation in the occupied Palestinians territories (Alternative Tourism Group and Joint Advocacy Initiative)
- This Week In Palestine (Issue No.171, July 2012)

